

中東情勢の緊迫化に伴う影響調査（第2回）の結果に関して

米国・イスラエルとイランの軍事衝突から2カ月以上が経過し、事態は長期化の様相を呈しています。回答企業の約8割が経営リスクを認識した第1回調査を受け、第2回調査では、定量的な実態把握と経営対応力・持続性の測定を行いました。

具体的には、3月以降の経常利益やコストの変動、価格転嫁の進捗、金融機関の貸出態度を詳細に分析しています。さらに、賃金・採用・投資計画への影響に加え、現場の具体的な調達困難事例と工夫による対処法も収集しました。本データが、不透明な環境下において、雇用を守り抜き事業を継続するための的確な経営判断を下す一助となれば幸いです。

●テーマ：「中東情勢の緊迫化の影響調査」（第2回）

●主催：愛知中小企業家同友会

●期間：5月18日（月）～5月27日（水）

●回答数：1253社

（建設：276社、製造：232社、流通・商業：150社、サービス：595社）

【概要】

◎中東情勢による経営への影響

経営への影響について、「すでに影響が出ている」と回答した企業は全体の53.0%（ダメージあり18.8%、軽微34.2%）に上ります。これに「今後の可能性がある」を加えると、全体の85.6%が経営リスクを認識しており、第1回調査（79.3%）からさらに危機感が高まっています。業種別では、建設業の76.1%、製造業の77.6%が「すでに影響あり」と回答しており、資材調達やコスト高騰が深刻な段階に達していることが浮き彫りとなりました。一方、サービス業では「今後可能性がある」が44.4%と高く、物価上昇による消費停滞など、二次的な影響への警戒を強めているのが特徴です。

◎3月以降の経常利益の変動

3月以降の経常利益が「減少」した企業は44.6%に達し、中小企業の収益力が急速に削られている実態が判明しました。特に、製造業では58.2%、建設業では56.1%の企業が減益を報告しており、利益が30%以上減少した深刻なケースも5%存在します。これは、原材料価格やエネルギーコストの急騰に対し、多くの企業が収益を圧迫されているためです。一方で「増加」は17.0%、「変化なし」は38.5%に留まっており、全産業的に「構造的危機」とも呼べる収益悪化の局面にあると言えます。利益の減少は、将来の投資や賃上げの原資を奪うことになり、企業の持続性に対する重大な脅威となっています。

◎3月以降の全体コストの状況

全体コストが「上昇」したと回答した企業は74.7%と圧倒的多数を占めています。内訳は「0~9%上昇」が39.9%ですが、「10%以上上昇」した企業も34.8%に上り、急激なコスト増に直面しています。業種別では、製造業の93.5%、建設業の87.3%が上昇を報告しており、ナフサ由来の資材や機械油、エネルギー価格の高騰がダイレクトに反映されています。これは、単なる景気変動ではなく、中小企業の存立基盤を揺るがす深刻な事態です。全業種・全規模にわたって、逃れられないコスト上昇圧力がかかっており、事業継続のためにいかにコストを管理・削減するかが、経営現場での喫緊の課題となっています。

◎コスト上昇分の価格転嫁の進捗

コスト上昇分を「ほぼ転嫁できている」企業は21.3%に留まる一方、60.0%の企業が「一部のみ」または「ほとんどできていない」と回答しています。特にサービス業では41.8%、製造業では21.6%が「ほとんどできていない」と答え、収益を自己犠牲的に守っている状況が鮮明です。価格転嫁が遅れている背景には、突然の急激なコスト上昇に交渉が追いつかない現状や、顧客への配慮、競合との兼ね合いがあります。客観的な情報に基づく自動的な転嫁体制の整備や、親事業者による優越的地位の濫用防止など、中小企業が不利益を被らないための制度的な後押しが切実に求められています。

◎金融機関の貸出態度

金融機関の貸出態度は、76.8%が「不変」と回答しているものの、13.8%が「厳しい」と感じています。特に建設業では16.8%、流通・商業では14.8%が厳格化を指摘しており、資金繰りの悪化に対する金融機関の警戒感が伺えます。コロナ禍での「ゼロゼロ融資」などの既往債務を抱える企業にとっては、追加融資が得られにくい状況が現実味を帯びています。急激なキャッシュアウトに備え、当座貸越枠の拡大や返済条件の緩和など、中小企業の資金確保に向けた機動的な金融支援が不可欠です。経営側も、財務状況を徹底点検し、不透明な情勢下で耐え抜くための必要資金を早期に確保する自衛策が求められています。

◎賃金に関する対応

賃金については、50.0%が「計画通りに賃上げ実施」と回答しましたが、「見送り・現状維持」とする企業も37.5%存在します。サービス業では44.4%が現状維持を選択しており、収益悪化が従業員の所得に影響し始めています。一方で、製造業(55.0%)や建設業(45.3%)では、コスト高騰の中でも人材確保のために賃上げを維持しようとする経営判断が見て取れます。社会的な賃上げ期待と、企業の現実的な支払能力との「ズレ」を放置すれば、労使関係の動揺を招きかねません。経営者は事実を率直に社員と共有し、共に危機を乗り越えるための信頼関係を築くことが、今こそ重要になっています。

◎採用・投資・雇用に関する対応

今後の対応として、「雇用の維持」を掲げる企業が54.4%と半数を超え、中小企業家としての「雇用を守り抜く」という強い意志が示されました。一方で、「新規投資の見合わせ・延期」は11.2%、「新規採用の見送り」は10.0%に達し、慎重な姿勢も広がっています。製造業では20.3%が「新規投資の実施」を計画しており、攻めの姿勢を維持する企業も一部ありますが、全体としては将来への支出を抑制し、まずは現有戦力と事業基盤を守ることに注力する傾向が強まっています。需要そのものが消失したわけではないため、雇用を維持しつつ、教育訓練などを通じて再起に向けた体力を蓄える準備期間と捉える動きも重要です。

◎経営に影響する主要なリスク要因

経営リスクとして最も多く挙げられたのは、「原材料・資材価格の上昇」で61.4%に達しました。次いで「受注減少・需要減退」(48.6%)、「仕入れ・調達の困難」(48.5%)、「エネルギー価格の上昇」(42.2%)が主要な要因となっています。特に製造業では「原材料高騰」が89.1%、建設業でも83.5%と極めて高く、ナフサや金属類の価格動向が致命的なリスクとなっています。また、「仕入れの困難」も建設業で73.3%と深刻です。これらは個々の企業の努力だけでは克服できない構造的な問題であり、サプライチェーン全体の安定化と、突発的な危機に対応できるレジリエンス(回復力)の強化が、中小企業経営の最優先課題となっています。

・・・・・・・・・・以下、Q11～13 文書回答・・・・・・・・・・

《調達困難な事例の具体的状況》

本設問への回答では、ナフサ(粗製ガソリン)由来の製品群を中心とした広範な品不足が浮き彫りとなりました。特に建設業と製造業において、事業継続を脅かすレベルの深刻な報告が相次いでいます。

1、建設・塗装業界の直撃

最も多く挙げられたのは、「塗装用シンナー」「接着剤(ボンド)」「断熱材(スタイロフォーム)」「シーリング材(コーキング)」です。これらは住宅建材の二次加工や現場施工に不可欠であり、これらが一点欠けるだけで「現場が止まる」「完工できない」という悲痛な声が目立ちます。また、塩ビパイプ(PVC)の供給制限や価格急騰、ユニットバスやトイレといった住宅設備機器の納期未定も深刻で、資材不足が原因で新築工事をストップせざるを得ない事例が多数報告されています。

2、製造現場での消耗品不足

製造業では、加工に不可欠な「切削油」「潤滑油」「作動油」の入手困難が強く訴えられています。社内在庫でやりくりしているものの、次回の発注見通しが立たない不安が

広がっています。また、物流に欠かせない「ストレッチフィルム」「PPバンド」「梱包資材」の品薄や購入制限も顕著です。さらに、中国の規制も重なった「超硬工具（タングステン）」や「磁石（レアアース）」の受注停止も、ハイテク加工現場に影を落としています。

3、サービス業・物流への波及

自動車整備や運送に関わる企業からは、「エンジンオイル」「アドブルー（尿素水）」の出荷制限が強く指摘されています。特にディーゼル車両用のオイル不足は物流インフラそのものの危機に直結しており、「半年程度で在庫が底をつく」との懸念が示されています。

総じて、単なる価格高騰を超えた「物理的な供給途絶」と「納期未回答」が全業種に共通する最大の特徴であり、サプライチェーンの「川上」での目詰まりが中小企業の現場を窒息させている実態が鮮明です。

.....

《調達困難に対する対処法（代替品・施策）》

資材が入手できないという危機的な状況に対し、中小企業家たちは「自助努力」の枠を超えた懸命な工夫でしのいでいます。その対処法は大きく三つの傾向に分類されます。

1、物理的な代替と工法の変更

最も具体的な対応は、成分の異なる代替品への切り替えです。塗装現場では「溶剤系から水性塗料への移行」、梱包では「プラスチックから紙製品への変更」が模索されています。建設現場では、指定商品が入荷しない場合に、施主と相談してメーカーを変える、あるいはトタンや木材など「昔ながらの素材」を活用するといった、柔軟かつ泥臭い対応が取られています。ただし、これらは品質試験のやり直しや客先承認が必要であり、コスト増や性能低下のリスクを伴う「苦渋の選択」であることも吐露されています。

2、必死の調達ルート多様化

従来の商流が機能しない中、多くの経営者が「ホームセンター（HC）巡り」や「ネット通販でのかき集め」を行っています。問屋に入らない品が HC にあるという歪な流通構造の中、割高な現金を支払ってでも目先の資材を確保しようとする姿が描かれています。また、同業者（同友会の仲間等）との資材の譲り合いや在庫の融通、さらに海外（中国や韓国）からの直接輸入を検討・実施する動きも見られます。

3、顧客交渉と在庫の積み増し

将来の不透明感から、当面の必要量を確保するために「通常以上の在庫を積み増す（先買い）」傾向が強まっています。これに伴う資金繰り悪化を覚悟の上での防衛策です。

並行して、顧客に対しては「工期の延長」や「納期遅延の事前了承」を丁寧に求めるといったコミュニケーションが不可欠となっています。

このように、あらゆる手段を尽くしていますが、「もう限界」「打開策がない」という回答も散見され、個社努力が限界点に達しつつあることが伺えます。

.....

《中小企業支援についての要望》

要望の柱は、「資金繰り支援」「正確な情報提供」「不公正な流通の是正」の三点に集約されます。

1、金融支援の拡充と柔軟な運用

最も切実なのは、コロナ禍での「ゼロゼロ融資」の返済が始まっている中での、新たな無利子・無担保融資や緊急貸付の実施です。工期の遅延による「売上はあがらないが入金だけが遅れる」というキャッシュフローの断絶を救済するための、返済猶予（リスク）や金利優遇が強く求められています。また、雇用を維持するための「雇用調整助成金」の要件緩和や助成率引き上げも、休業を余儀なくされつつある現場から切実に訴えられています。

2、正確な情報の開示と「目詰まり」の解消

行政に対する強い不信感と苛立ちも顕著です。「政府からはナフサはあると言うが、現場には全く届かない」という情報の乖離を解消し、川上の精製メーカーや商流のどこで滞っているのかを明確に説明・公表してほしいという要望が相次いでいます。また、一部での「買い占め」「売り惜しみ」「便乗値上げ」に対する厳正な監視と規制を求める声も非常に多く、不公平な分配を是正する「政治のリーダーシップ」が強く期待されています。

3、コスト上昇分を転嫁できる環境づくり

エネルギー価格や原材料費の暴騰を、自社だけで吸収するのは不可能です。下請構造の末端にある中小企業が、親企業に対して適正に価格転嫁できるよう、国による強力な指導や法的措置（取適法等の遵守徹底）を望む声が多数寄せられています。また、消費税の減税や納税猶予といった、直接的な負担軽減策も根強く要望されています。

文書回答からは、今の事態を「コロナ禍以上の危機」と捉える危機感が伝わります。単なる補助金ではなく、「普通に仕事ができる環境（資材の供給）」を最優先に取り戻してほしいという、事業への誇りと責任感がにじみ出る要望が共通の特徴といえます。

中東情勢の緊迫化の影響調査②

- 目的：米国・イスラエルとイランの軍事衝突から2カ月以上が経過しました。そこで第2回目の調査では、定量的な実態把握と、経営対応力など今後の持続性を測り、経営判断に活用できるデータを収集します。

- 調査期間：5月18日（月）～5月27日（水）

Q1、業種を選択してください

- ① 建設業
- ② 製造業
- ③ 流通・商業
- ④ サービス業

Q2、総従業員数で該当するものを選択してください

- ① 1～4人
- ② 5～9人
- ③ 10～19人
- ④ 20～29人
- ⑤ 30～49人
- ⑥ 50人～99人
- ⑦ 100人以上

Q3、中東情勢が緊迫化していることによる影響の状況を選択してください

- ① すでに影響が出ている（経営にダメージが及んでいる）
- ② すでに影響が出ている（経営へのダメージは軽微）
- ③ 現時点では影響は出ていないが、今後は可能性がある
- ④ 現時点ではわからない
- ⑤ 影響はない（見込み）

Q4、3月以降で見て、御社の経常利益の状況は変化していますか

- ① 0～9%減少
- ② 10～19%減少
- ③ 20～29%減少
- ④ 30%以上減少
- ⑤ 増加
- ⑥ 変化なし

Q5、3月以降、御社の全体コストの状況は変化していますか

- ① 0～9%上昇
- ② 10～19%上昇
- ③ 20～29%上昇
- ④ 30%以上上昇
- ⑤ 低下
- ⑥ 変化なし

Q6、コスト上昇分の価格転嫁は適正に行えていますか

- ① ほぼ転嫁できている
- ② 半分位は転嫁できている
- ③ 一部のみ
- ④ ほとんどできていない

Q7、金融機関の貸出態度について、該当するものを選択してください

- ① 緩い
- ② 不変
- ③ 厳しい

Q8、今回の中東情勢悪化を踏まえた御社の「賃金」に関する対応について、該当するものをすべて選択してください。なお、いずれの選択肢も現状での「予定」も含まます（複数回答）

- ① 「賃上げ」は計画通りに実施
- ② 「賃上げ」は計画を下方修正して実施
- ③ 「賃上げ」計画の見送り、または「賃上げ」計画自体なし（現状維持）
- ④ 賃金カット
- ⑤ 賞与カット

Q9、今回の状況を受けて、御社の「採用」「投資」「雇用」に関する対応について、該当するものをすべて選択してください。なお、いずれの選択肢も現状での「予定」も含まます（複数回答）

- ① 「新規採用」は計画通りに実施
- ② 採用計画の見直し（新規採用の抑制）
- ③ 「新規採用」の見送り
- ④ 「新規投資」は計画通りに実施
- ⑤ 「新規投資」の見合わせ・延期
- ⑥ 雇用の維持
- ⑦ 人員削減

Q10、御社の経営に影響するリスク要因として、該当するものをすべて選択してください（複数回答）

- ① 原材料・資材価格の上昇
- ② エネルギー価格の上昇
- ③ 物流調達・遅延
- ④ 仕入れ・調達の困難
- ⑤ 受注減少・需要減退
- ⑥ 為替変動の影響
- ⑦ サプライチェーンの寸断
- ⑧ 資金繰りの逼迫
- ⑨ その他

Q11、調達困難な事例があれば具体的に品名も含めて記述して下さい（文書回答）

【記述例】塗装用シンナーが著しく調達困難。問屋の▲▲社に問い合わせをしたところ、精製メーカーである●●社がナフサが不足する事態を懸念して稼働を縮小しているためのものである。

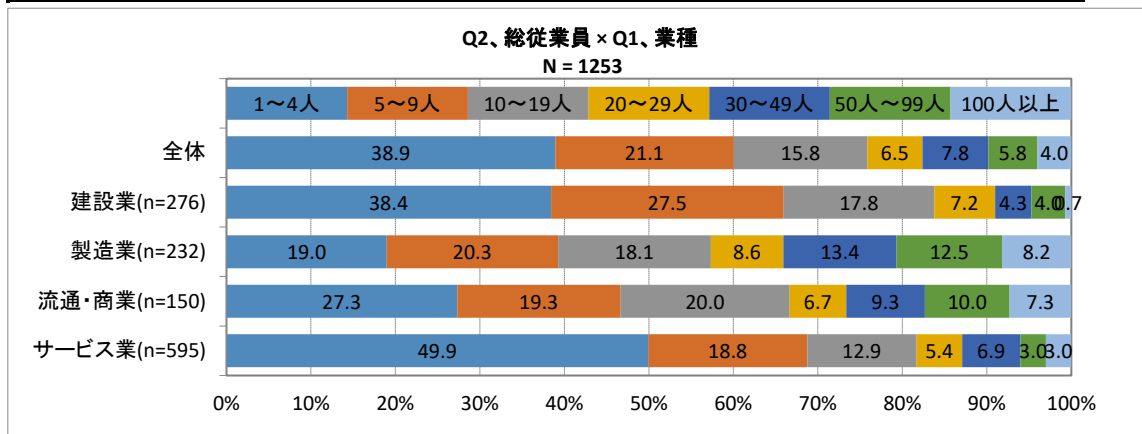
Q12、調達困難に対しての対処法（代替品・施策）があればご紹介下さい（文書回答）

【記述例】水性塗料へ移行しているが、こちらも最近は調達が難しくなっている。ノントルエン・ノンキシレンタイプなどの代替品使用も検討中。

Q13、中東情勢に対応するため、中小企業支援についての要望があればご記入下さい。
（文書回答）

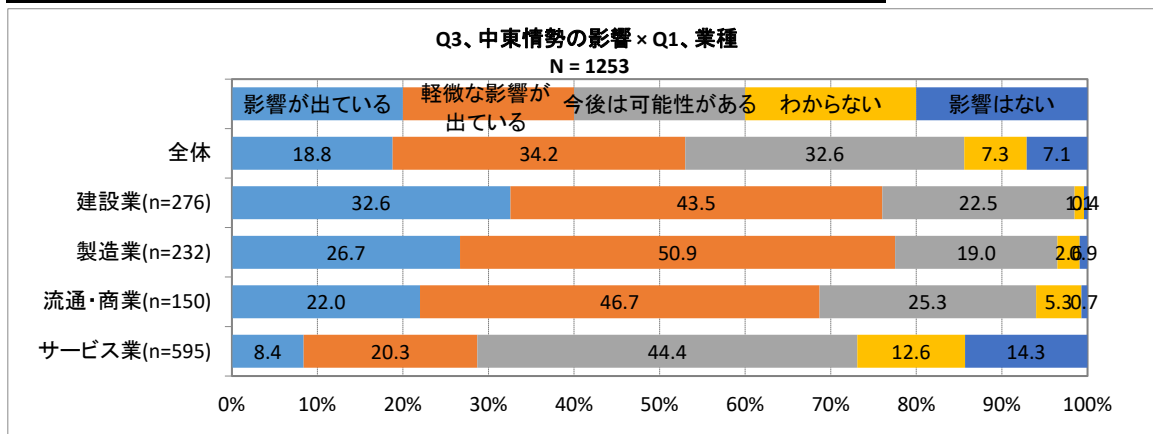
Q2、総従業員 × Q1、業種

上段:度数 下段:%		Q2、総従業員							
		合計	1~4人	5~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50人~99人	100人以上
Q1、業種	全体	1253 100.0	488 38.9	264 21.1	198 15.8	82 6.5	98 7.8	73 5.8	50 4.0
	建設業	276 100.0	106 38.4	76 27.5	49 17.8	20 7.2	12 4.3	11 4.0	2 0.7
	製造業	232 100.0	44 19.0	47 20.3	42 18.1	20 8.6	31 13.4	29 12.5	19 8.2
	流通・商業	150 100.0	41 27.3	29 19.3	30 20.0	10 6.7	14 9.3	15 10.0	11 7.3
	サービス業	595 100.0	297 49.9	112 18.8	77 12.9	32 5.4	41 6.9	18 3.0	18 3.0



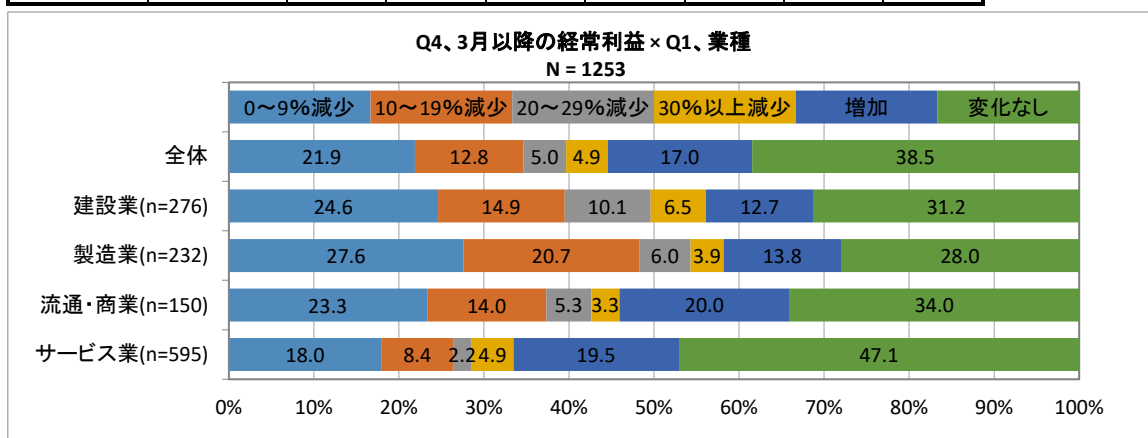
Q3、中東情勢の影響 × Q1、業種

上段:度数 下段:%		Q3、中東情勢の影響					
		合計	影響が出ている	軽微な影響が出ている	今後は可能性がある	わからない	影響はない
Q1、業種	全体	1253 100.0	235 18.8	429 34.2	408 32.6	92 7.3	89 7.1
	建設業	276 100.0	90 32.6	120 43.5	62 22.5	3 1.1	1 0.4
	製造業	232 100.0	62 26.7	118 50.9	44 19.0	6 2.6	2 0.9
	流通・商業	150 100.0	33 22.0	70 46.7	38 25.3	8 5.3	1 0.7
	サービス業	595 100.0	50 8.4	121 20.3	264 44.4	75 12.6	85 14.3



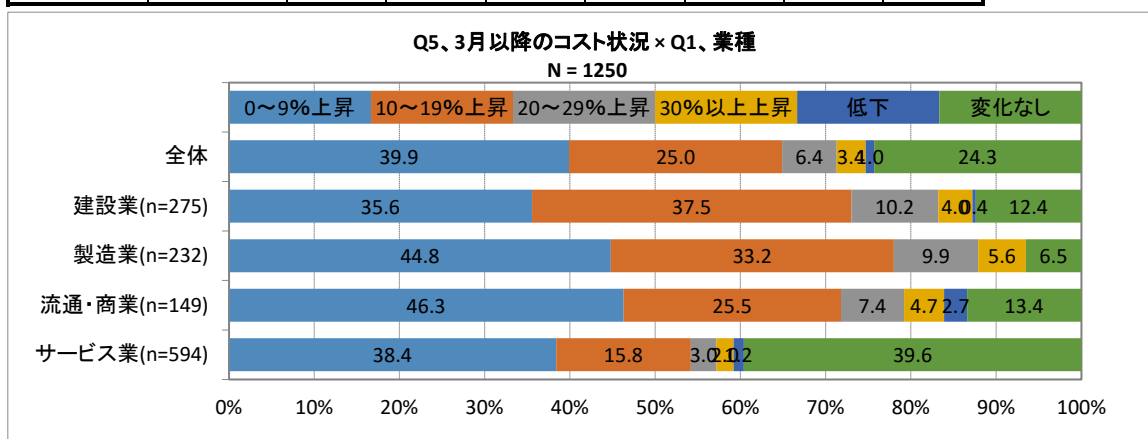
Q4、3月以降の経常利益 × Q1、業種

上段:度数 下段:%		Q4、3月以降の経常利益						
		合計	0~9% 減少	10~ 19%減 少	20~ 29%減 少	30%以 上減少	増加	変化なし
Q1、業種	全体	1253 100.0	274 21.9	160 12.8	63 5.0	61 4.9	213 17.0	482 38.5
	建設業	276 100.0	68 24.6	41 14.9	28 10.1	18 6.5	35 12.7	86 31.2
	製造業	232 100.0	64 27.6	48 20.7	14 6.0	9 3.9	32 13.8	65 28.0
	流通・商業	150 100.0	35 23.3	21 14.0	8 5.3	5 3.3	30 20.0	51 34.0
	サービス業	595 100.0	107 18.0	50 8.4	13 2.2	29 4.9	116 19.5	280 47.1



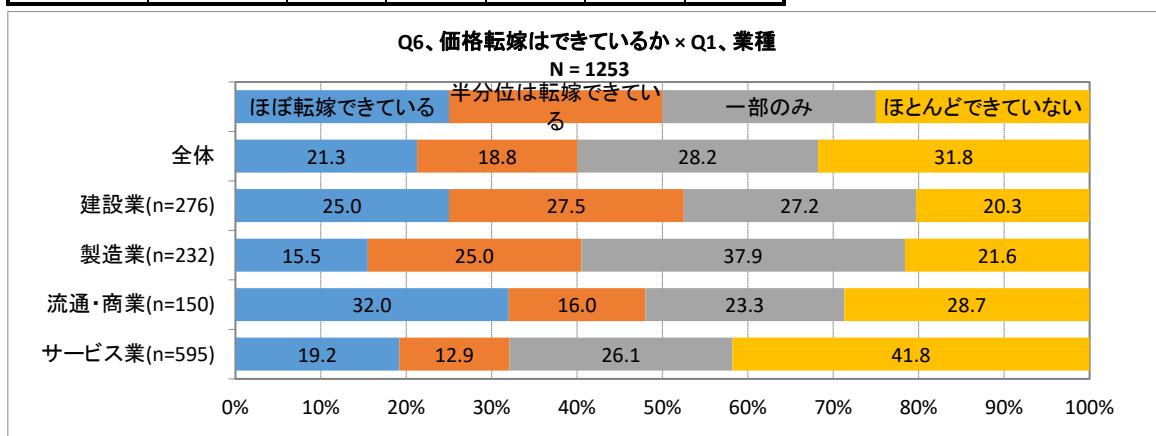
Q5、3月以降のコスト状況 × Q1、業種

上段:度数 下段:%		Q5、3月以降のコスト状況						
		合計	0~9% 上昇	10~ 19%上 昇	20~ 29%上 昇	30%以 上上昇	低下	変化なし
Q1、業種	全体	1250 100.0	499 39.9	312 25.0	80 6.4	43 3.4	12 1.0	304 24.3
	建設業	275 100.0	98 35.6	103 37.5	28 10.2	11 4.0	1 0.4	34 12.4
	製造業	232 100.0	104 44.8	77 33.2	23 9.9	13 5.6	- -	15 6.5
	流通・商業	149 100.0	69 46.3	38 25.5	11 7.4	7 4.7	4 2.7	20 13.4
	サービス業	594 100.0	228 38.4	94 15.8	18 3.0	12 2.0	7 1.2	235 39.6



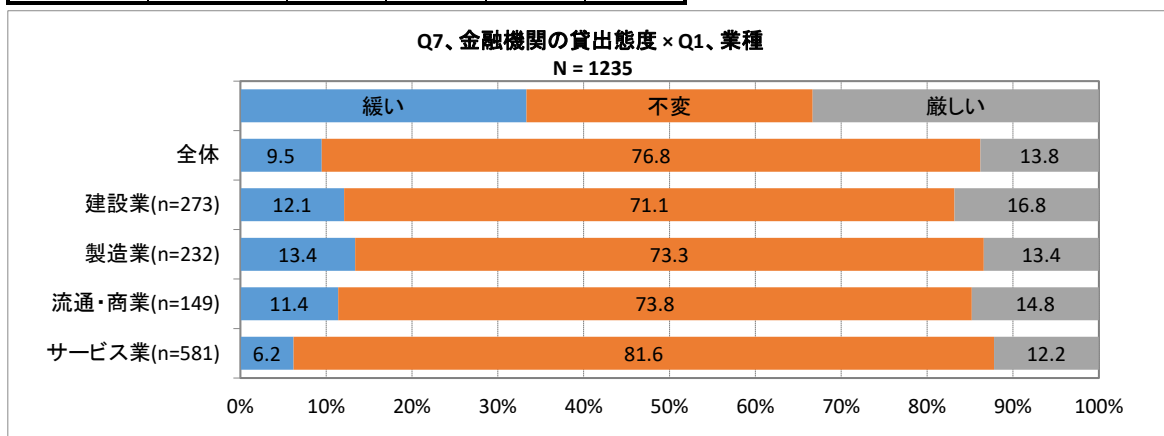
Q6、価格転嫁はできているか × Q1、業種

上段:度数 下段:%		Q6、価格転嫁はできているか				
		合計	ほぼ転嫁できている	半分位は転嫁できている	一部のみ	ほとんどできていない
Q1、業種	全体	1253 100.0	267 21.3	235 18.8	353 28.2	398 31.8
	建設業	276 100.0	69 25.0	76 27.5	75 27.2	56 20.3
	製造業	232 100.0	36 15.5	58 25.0	88 37.9	50 21.6
	流通・商業	150 100.0	48 32.0	24 16.0	35 23.3	43 28.7
	サービス業	595 100.0	114 19.2	77 12.9	155 26.1	249 41.8



Q7、金融機関の貸出態度 × Q1、業種

上段:度数 下段:%		Q7、金融機関の貸出態度			
		合計	緩い	不変	厳しい
Q1、業種	全体	1235 100.0	117 9.5	948 76.8	170 13.8
	建設業	273 100.0	33 12.1	194 71.1	46 16.8
	製造業	232 100.0	31 13.4	170 73.3	31 13.4
	流通・商業	149 100.0	17 11.4	110 73.8	22 14.8
	サービス業	581 100.0	36 6.2	474 81.6	71 12.2

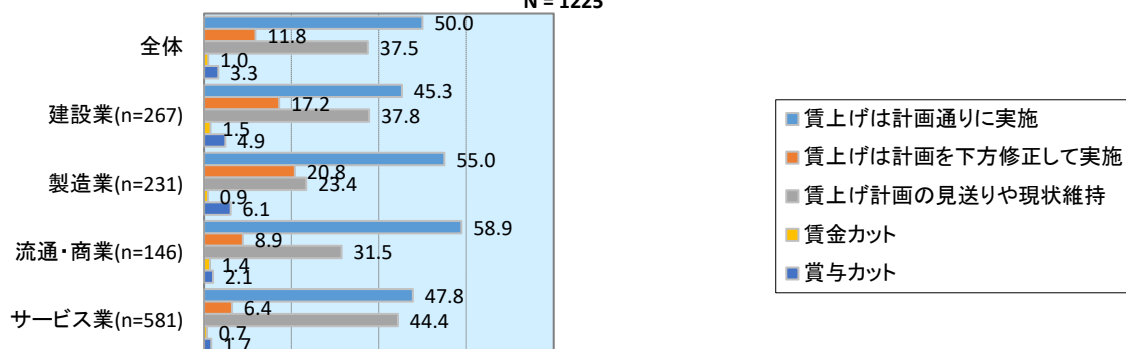


Q8、賃金に関する対応 × Q1、業種

上段:度数 下段:%		Q8、賃金に関する対応					
		合計	賃上げは計画通りに実施	賃上げは計画を下方修正して実施	賃上げ計画の見送りや現状維持	賃金カット	賞与カット
Q1、業種	全体	1225 100.0	612 50.0	144 11.8	459 37.5	12 1.0	40 3.3
	建設業	267 100.0	121 45.3	46 17.2	101 37.8	4 1.5	13 4.9
	製造業	231 100.0	127 55.0	48 20.8	54 23.4	2 0.9	14 6.1
	流通・商業	146 100.0	86 58.9	13 8.9	46 31.5	2 1.4	3 2.1
	サービス業	581 100.0	278 47.8	37 6.4	258 44.4	4 0.7	10 1.7

Q8、賃金に関する対応 × Q1、業種

N = 1225

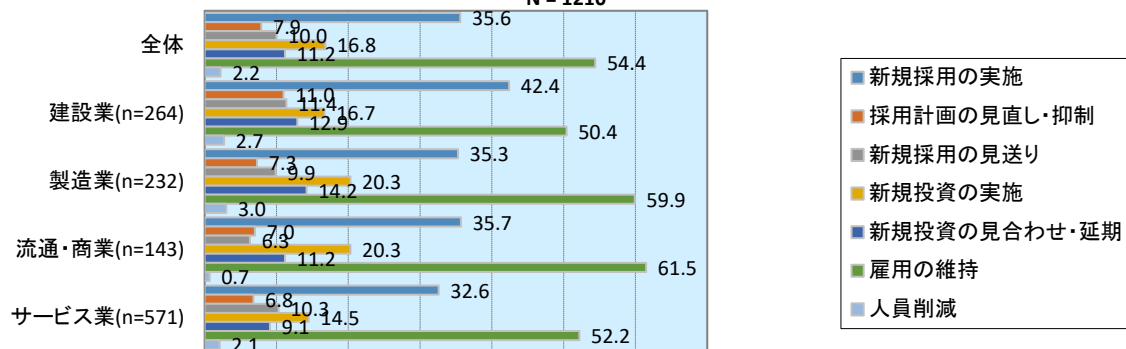


Q9、採用・投資・雇用に関する対応 × Q1、業種

上段:度数 下段:%		Q9、採用・投資・雇用に関する対応							
		合計	新規採用の実施	採用計画の見直し・抑制	新規採用の見送り	新規投資の実施	新規投資の見合わせ・延期	雇用の維持	人員削減
Q1、業種	全体	1210 100.0	431 35.6	95 7.9	121 10.0	203 16.8	135 11.2	658 54.4	27 2.2
	建設業	264 100.0	112 42.4	29 11.0	30 11.4	44 16.7	34 12.9	133 50.4	7 2.7
	製造業	232 100.0	82 35.3	17 7.3	23 9.9	47 20.3	33 14.2	139 59.9	7 3.0
	流通・商業	143 100.0	51 35.7	10 7.0	9 6.3	29 20.3	16 11.2	88 61.5	1 0.7
	サービス業	571 100.0	186 32.6	39 6.8	59 10.3	83 14.5	52 9.1	298 52.2	12 2.1

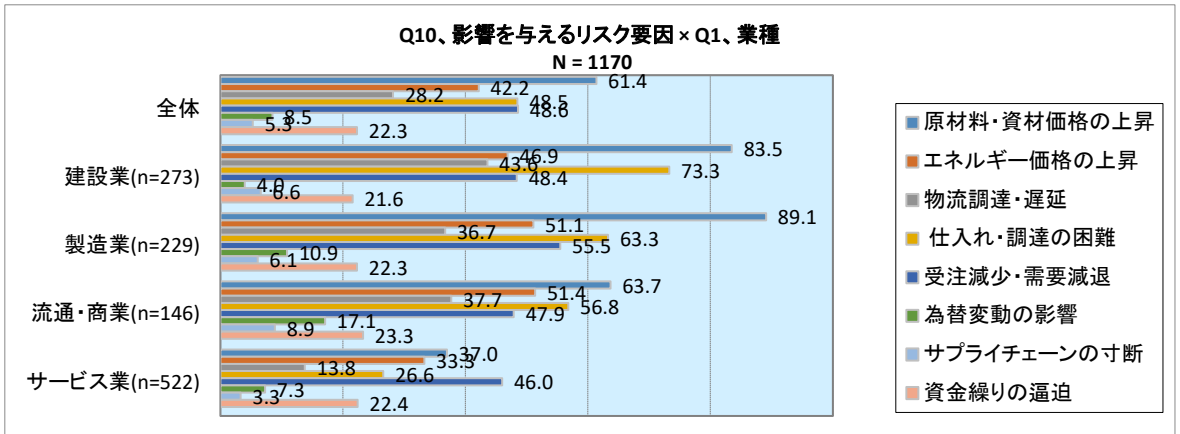
Q9、採用・投資・雇用に関する対応 × Q1、業種

N = 1210



Q10、影響を与えるリスク要因 × Q1、業種

上段:度数 下段:%		Q10、影響を与えるリスク要因								
		合計	原材料・ 資材価格の上昇	エネルギー価格の上昇	物流調達・遅延	仕入れ・ 調達の困難	受注減少・需要減退	為替変動の影響	サプライチェーンの寸断	資金繰りの逼迫
Q1、業種	全体	1170 100.0	718 61.4	494 42.2	330 28.2	567 48.5	569 48.6	99 8.5	62 5.3	261 22.3
	建設業	273 100.0	228 83.5	128 46.9	119 43.6	200 73.3	132 48.4	11 4.0	18 6.6	59 21.6
	製造業	229 100.0	204 89.1	117 51.1	84 36.7	145 63.3	127 55.5	25 10.9	14 6.1	51 22.3
	流通・商業	146 100.0	93 63.7	75 51.4	55 37.7	83 56.8	70 47.9	25 17.1	13 8.9	34 23.3
	サービス業	522 100.0	193 37.0	174 33.3	72 13.8	139 26.6	240 46.0	38 7.3	17 3.3	117 22.4



Q11、調達困難な物品の具体例

NO	業種	総従業員	文書回答
1	建設業	1~4人	錆止め塗装、シーリング、断熱材など
2	建設業	1~4人	設備・資材メーカーからの通知、価格UPスタート、多くが、6月7月8月から価格改定示唆。看板工事の見積もりが、期限1ヶ月、見積りは約150%情勢により変化も有り注釈入り。と、依頼する側への説明も難しい内容に。早期決定が正解なのかも明言しづらい。
3	建設業	1~4人	入社困難、納期未定断熱材、構造用合板、ユニットバス、樹脂製品
4	建設業	1~4人	塗装業界です。上記の文章そのまんまです
5	建設業	1~4人	電線の銅ベースが上がるので、見積が合わないことが多い。空調の冷媒配管も入りにくい。今後何が入らなくなるか不安である。
6	建設業	1~4人	スリムダクト、塩ビ管用溶着のりが少しづつしか手に入らない。
7	建設業	1~4人	塗料メーカーは各社10~50%ほどの値上げをしてきました。シンナー及びサビ止め、下塗り関連が入りにくいです。また以前はほとんどの商品を2日あれば入手出来たんですが今は2~3週間ほどかかるので計画を立てづらい。
8	建設業	1~4人	断熱材が仕入れできず新築工事がストップ。接着剤がなく内装工事が進められない
9	建設業	1~4人	シンナー、2液塗料、防水材、シーリングが入らない。各メーカー受注ストップ。
10	建設業	1~4人	塗料、材料、副資材全般
11	建設業	1~4人	住設品（化成品）の納期が遅延又は未回答・不明。
12	建設業	1~4人	エアコンのダクト部材、太めのパイプ、接着剤、一部テープやシール。
13	建設業	1~4人	空調資材の仕入れ業者に確認したところ、「中東情勢の影響で商品を仕入れる事ができず、売るのが無く本当に困っている。工事業者さんにも、本当に迷惑を掛けて申し訳ない。」との事。
14	建設業	1~4人	今一番影響が出ているのがサイディング用のコーキングです。下請に依頼しているので、現実手に入らない状況しか分からず手の打ちようがなく、待つのみ状況です。
15	建設業	1~4人	住設機器、コーキング、塗料、シンナー、照明器具、防水材等報道の通り
16	建設業	1~4人	シンナー入荷なし
17	建設業	1~4人	現状全メーカー、外部水性シーラー（内部水性シーラーもいつなくなるか？）、溶剤シーラー、錆止め、微弾性サフェーサー（これも下塗り）が、入手困難による外装の新築、塗替えが困難。塗料用シンナーはかろうじて入手。養生副資材（マナー、ノンスリップ養生、紙テープ）も1部ホームセンターでしか入手できるが、ケース売りはない。塗装ではないが、防水塗料は3月下旬か4月上旬より入手困難が続いており売り上げに大ダメージが起きている感じ。
18	建設業	1~4人	シンナー、コーキングの入手困難に加え、合板（接着剤に影響）が品薄になる情報あり。メーカー情報ではなく市場の情報の為製造メーカーからの回答は現在はない。
19	建設業	1~4人	現段階では、各メーカーが在庫で何とか対応しているが、今後中東情勢がこのまま続けば、間違いなく7・8月頃から建築材料不足の為仕事が受注出来ず、建築業界は、倒産する会社が大量の出てると思われるので、国の早急な支援を実施してもらいたい。
20	建設業	1~4人	塗料などの石油関係が届かない
21	建設業	1~4人	シンナー類、下塗り系の塗料の仕入れが完全に停止。急な停止のため、その影響で、工期の先延ばしになり、再開しても、資材の値上がり。工事は従来の単価のままで施工になり、負担が増えただけ。
22	建設業	1~4人	塗料用シンナーの不足を感じている、コーキング材料も入荷待ちと聞いている
23	建設業	1~4人	住宅設備機器（ユニットバス・トイレ）が平時と比べて納期が大幅に遅延。内装材に使用する糊・ボンドが仕入れ困難。その他、建築資材に納期遅延・入手困難な材料が多々発生している状況。
24	建設業	1~4人	塩ビパイプ、ナフサの影響
25	建設業	1~4人	接着剤 塗装用シンナー 断熱材 ユニットバス 給排水配管 仕入れ先からの情報。
26	建設業	1~4人	TOYOユニットバスは納期未定で実質入ってこないと言われたい。
27	建設業	1~4人	ユニットバスを中心に住宅設備の納期が出ない
28	建設業	1~4人	建築資材の不足、および高騰により、現場の遅延、計画の中止など、進まない。資金繰りが厳しくなる
29	建設業	1~4人	塩ビパイプなどが不足して、取り合いになっている。値段も30パーセント値上がりになります。接着剤等ないものが色々とお始めている。
30	建設業	1~4人	接着剤関係が入ってこない、または入ってきにくい状態。木材は一部の合板が間屋に在庫がない状況。
31	建設業	1~4人	日本イベントの値上げが大きすぎる。また、各メーカー品名によってはいつ入荷するかわからない状況なので現場が詰まってきたり、物流が動き出したら一探に現場が動くので人の確保や待ってもらおう現場もかなりでてる。
32	建設業	1~4人	現在、鉄骨工事業界においても人手不足や職人の高齢化が深刻化しています。特に若手人材の確保が難しく、今後さらに担い手不足が進んでいくと感じています。その中で、技術力だけでなく、人が集まり定着する会社づくりが、今後より重要になると考えています。
33	建設業	1~4人	今回の問題が直接かわっているか疑問では、ありますがエアコン用ダクトが全くない状況です
34	建設業	1~4人	ユニットバスなどの石油系原料を使用する商品や建材の入手困難
35	建設業	1~4人	エアコン配管材料がごとごとく欠品2027年問題、銅管の値上げに加えて中東情勢の悪化による材料不足の不安感により、年明けから段階的に各部材の買い占めがおきていると予想される
36	建設業	1~4人	塗料の遅延は言うまでも無く、受注停止などもあり事業の予定が立てられない。
37	建設業	1~4人	建設業の建築設備業（給排水、空調設備）。管材（塩ビパイプ）の入手困難。メーカー製造の出荷等に数量規制があるよう。代理店を通しての情報でしかないが、この先の不透明感は今後も続く。同時に資材の値上げや仕入の掛け比率の改訂の案内が連日届く、衛生機器メーカーも注文不可や納期回答でない時もあるが、現状周囲からの理解を取れているので柔軟に対応はできてる。
38	建設業	1~4人	アドブルー、オイルの不足
39	建設業	1~4人	LED照明がない
40	建設業	1~4人	塗料、シンナー、マスカ、エポキシ樹脂系ボンド、シーリング材の調達がかかり悪い。間屋としてはどこで入ってこないのか分からないとの事。
41	建設業	1~4人	各仕様がそのまま作れるか都度確認が必要。何がいつ入らなくなるのかわからず不安
42	建設業	1~4人	ユニットバス・クロス。その他住設機器類。全体的に納期問題
43	建設業	1~4人	ナフサの影響で資材がない
44	建設業	1~4人	現在塗料・シンナー・接着剤・断熱材が店頭から消えかかっているが、この先接着剤を使用する2次製品・3次製品の建材が納期未定になるかと思うと憂鬱。
45	建設業	1~4人	内装建材の副資材関係、システムバス、トイレ
46	建設業	1~4人	ナフサ関連の製品が受注ストップばかりで現場が進まない。建て替え費用・期間が伸びて金融機関に借入を依頼しております。
47	建設業	5~9人	シンナー不足のため塗料の大量入手が困難。色を変えるなど出来ることで対策。
48	建設業	5~9人	塩ビ製品がやや不足気味 断熱材とルーフィングは調達困難
49	建設業	5~9人	ボンド・塗料・シンナー・シート・テープ類 は未だ全く入荷未定 金額も不明
50	建設業	5~9人	シンナー系統が入りにくい。錆止め塗料が入手できない。溶剤系塗料が入りにくい。塗料の下塗り材、溶剤、水性とも入手しにくい。
51	建設業	5~9人	塗料関係・配管用のパイプ・塩ビ管用のボンド・雨樋が手に入りにくい。原材料が不足する事態を懸念してメーカーも製造量と販売を制限しており、間屋にも入ってくる時期が読めない連絡があった。大手企業も秋以降の資材の入手が確約取れてないという情報もある。
52	建設業	5~9人	工事をやる際、塩ビ管の不足。2ストエンジン機械の混合に、使うオイルの品薄になっている
53	建設業	5~9人	塗装用シンナーが著しく調達困難。断熱材が著しく調達困難。ルーフィングが著しく調達困難。配管材が著しく調達困難。住設機器（特にユニットバス）が著しく調達困難
54	建設業	5~9人	オイル等
55	建設業	5~9人	建設事業のほうでかなり影響が出ている。入手困難、接着剤、断熱材、塩ビパイプ類。入荷未定及び価格上昇、住宅用新建材、ユニットバス、システムキッチン、化粧板類、塗料、シンナー。防水用資材、引渡しが工程通りに行えない。工期未定となってしま
56	建設業	5~9人	PVC部材が著しく調達困難。現状受注施工分の材料確保にも追われている状況
57	建設業	5~9人	構造用合板の不足。接着剤の不足が原因。石油関連製品の不足。断熱材（スタイロ含む）・塗膜防水系（ウレタン）シーリング材等。
58	建設業	5~9人	先行きが不透明で対応できない。資材不足に直面、今後さらに不足項目が増える見込みです。

Q11、調達困難な物品の具体例

NO	業種	総従業員	文書回答
59	建設業	5～9人	断熱材・ボンド材が調達困難
60	建設業	5～9人	建築資材の調達難が出ている。商社に確認したところ、取引額の大きい企業を優先に建築資材を出している情報があるので小規模の企業は工事を完了できず益々厳しくなると思われる。
61	建設業	5～9人	ラッカーシンナー、ストレッチフィルム、ポンプやモーター等の産業機器の入手難。
62	建設業	5～9人	塩ビパイプの遅れで工事が止まっている
63	建設業	5～9人	各メーカーのエコユニットバス、受注は再開した。納期2～2.5カ月を要す（通常2～3週間程度）
64	建設業	5～9人	塗装用シンナーが著しく調達困難。メーカーからの受注停止。（防水材、塗装材、住設機器、あらゆる塗装されているものの商品）
65	建設業	5～9人	住宅設備機器の調達が困難なのをはじめ、業者ごとに何かが入らず現場の進行に支障をきたしている。
66	建設業	5～9人	石油関連製品が入手困難。値上げ。納期不明。
67	建設業	5～9人	アルミ樹脂パネル、大型印刷機のインク、塗料用シンナー、塗料全般、アクリル板、ビニールテントシート、倉庫用テント生地
68	建設業	5～9人	各住設メーカーが足並み揃えて出荷調整している状態。なくはないが、仕入れ先は新規顧客にはしばらく売らないようにしている。接着剤やシーリング関係がない状態。
69	建設業	5～9人	内装材の床糊の受注をメーカーがストップ！ユニットバスの受注をメーカーがストップ！7月より内装材が20%から30%の値上げ！
70	建設業	5～9人	建築資材が入ってこない為、解体工事も延期になっている
71	建設業	5～9人	まさしくシンナーが不足しています。
72	建設業	5～9人	高圧ケーブル、エアコン部材
73	建設業	5～9人	原材料のナフサ不足と中東情勢の影響を理由に関係ない部分まで便乗して値上げが始まっている。材料価格が高騰しただけで、賃金が上がったわけではないのでそこに関して我々消費者も便乗して材料と共に賃金を上げていく必要があると感じています。
74	建設業	5～9人	ナフサショックにより建設資材の納品に遅れ、中には受注停止のものもある。それにより工事が止まっている物件が多数。
75	建設業	5～9人	セメントに混ぜる接着剤の納入が遅れている
76	建設業	5～9人	フクビの樹脂製建材が入荷未定のまま用途が立たず。屋根下地下下葺材（ルーフィング）の価格が4.0%上昇
77	建設業	5～9人	塗料自体が調達困難。塗料メーカーからの受注停止期間延長の案内があり、6月末までは塗料の調達に直接的な影響があり、その後の回復も不透明。メーカー曰く、各種塗料の複数ある原材料の中でも、現状調達できているものとできていないものがあり、調達できていない原材料を含む塗料の生産は再開のメドがたっていない状況である。
78	建設業	5～9人	ルーフィング材の出荷停止・受注停止が一番です。
79	建設業	5～9人	元請けの塗料仕入れ困難
80	建設業	5～9人	誘導灯、感知器類
81	建設業	10～19人	ナフサ関連商品全般において、価格高騰と供給不安が続いております。特に、塩ビパイプは約40%の値上げに加え、納期未定の状況となっております。また、塗料については約70%の値上げとなっております、シンナーに関しても入荷未定の状態です。そのほか、各種テープ類につきましても、値上げおよび入手制限が発生しております。
82	建設業	10～19人	もともとリフォームサッシ業は1月から大不況が全国的にきていた。かなり厳しい中で中東問題がおこり仕入れも上昇。消費マインドも下がる中、昨年までの賃金UPで固定費増により営業利益が出ない状況が続いている。
83	建設業	10～19人	塩ビパイプ 接続用のり
84	建設業	10～19人	屋根工事においてはルーフィングが入手困難。納期回答未定の状況。樹脂椀木、プチル系防水テープ、シリコンコーキングも入手困難。雨樋工事については樋（樹脂系）が納期回答未定の状況。
85	建設業	10～19人	屋根に使用する防水材・断熱材について値上げおよび材料の納期が不明と回答が来ている
86	建設業	10～19人	照明器具の入荷が昨年より遅れ気味。現状は大きな遅延は無いが工事が完工できないことによる入金遅れが懸念される。
87	建設業	10～19人	特殊便器、特殊便座
88	建設業	10～19人	お願いしている整備工場でトラックのオイルがないと言われて、他で手配しました。他にも消耗品が値上がりしてきています。（10%くらい）
89	建設業	10～19人	塩ビ関係、塗料関係、保温材などが手に入らない
90	建設業	10～19人	石油系材料の確保がなかなか思うよういかない
91	建設業	10～19人	塩ビ系の配管及びその継手類、接着剤系、エアコン樹脂カバーなどの樹脂関係が調達困難。メーカーが問屋への供給量を年間取引量に応じて制限している。
92	建設業	10～19人	アドブルーが従来通りに納入できず、ネットで購入するにしても個数制限され何ともならない、このまま続くと重機、ダンプが正常稼働できない。
93	建設業	10～19人	建築資材全般入手困難。すべてナフサに関係するものであり、入荷未定状態のものが多いうえに、入荷した際の値段は上昇する見込み。
94	建設業	10～19人	養生材、塩ビ管等
95	建設業	10～19人	巷ではコーキング材、養生テープ、スタイロホーム系断熱材が調達困難だが、大手ハウスメーカーの資材は今のところ大丈夫です。
96	建設業	10～19人	塩ビ管の仕入れが全然できていない状況です。管材商社よりもメーカーの出し渋りだと思います。または川上で問題があると思います。
97	建設業	10～19人	建材、塗材すべて厳しいけど、特に防水材は極めて厳しい。
98	建設業	20～29人	管材および一部衛生機器で、部材調達が難しい。メーカー側で出荷調整をしているようです。また、5月以降は部材の単価が上昇。納期未定品も一部あり。業界全体では、年度はじめの閑散期であるため、そこまで大騒ぎになっていない。
99	建設業	20～29人	材料供給が少ない
100	建設業	20～29人	塗料系、アクリルプライマー系等
101	建設業	20～29人	スタイロフォームの調達不可、照明器具の調達遅延、高圧ケーブルの受注停止（一部のメーカー）ビニールパイプの入手遅延、エアコンのスリムダクト入手出来ない
102	建設業	20～29人	防水塗装工事ができない。断熱材が絡む工事ができない。接着剤が必要な工事ができない。受注しても工事が進められない。
103	建設業	20～29人	アスファルト価格が20%以上高騰。建設業には人は来ない。
104	建設業	20～29人	当社の主力工事ではないがビニルエステル樹脂塗料が停止となっている為、FRP工事は受注できない。その他シンナーを含む塗料は価格は上がったが調達可能。納期は以前より3日程度遅い。
105	建設業	20～29人	断熱材スタイロフォームの入荷遅延 メーカー側の製造制限で発注数量が限られている（必要数量の確保に時間がかかる）。エコキス系ボンドの入荷遅延 各メーカーに必要な数量を発注しているが入荷の目途が立たない。現在は在庫で対応中だが今後も続くと工事ストップの危機。
106	建設業	20～29人	防水工事においてコーキングが不足。防水材も遅延。塩ビパイプも不足。
107	建設業	30～49人	建築資材全般の確保難（シンナー・防水剤・養生材など）その為、受注するのに慎重にならざるを得ない状況。
108	建設業	30～49人	排水管、給水管など管部材が調達困難。商社も受注制限があり、弊社ではコントロールが難しい状況。職人を通じて高値でも材料をかき集めている状況です。
109	建設業	30～49人	接着剤が枯渇し始めている
110	建設業	30～49人	銅管、プラスチック製品全般、ビニール製品（ドレンホース・ビニールテープ・コーテープなど）仕入れ先によると、在庫ストック品が底をつき新規での入荷目処が立っていないとのこと。
111	建設業	30～49人	加工機で使用する硬度の高い油の入手が困難。タングステンを使用する工具も30%以上価格上昇。
112	建設業	30～49人	通信用資材の入荷に少しづつ遅延が発生し出している。
113	建設業	50人～99人	戸建ての住宅などは品物が無いという事で工事が止まっているところもあるが、大手のゼネコンはまだそのようなことは起きていない。しかし中東問題が長引けば、工事がストップする可能性はあると思う。
114	建設業	50人～99人	工場などの床に使用する塗床材の不足で機械設備の据え付けが出来ず、それに伴い周辺の電気工事（我々の施工範囲）の遅れが生ずる事例あり。
115	建設業	50人～99人	機油用オイル・エンジン用ゴムベルト・その他機械用合成樹脂製消耗品が調達困難になりつつある。
116	建設業	50人～99人	接着剤全般の仕入れが困難（難しいながらもギリギリ保っている）。アスファルトの値上げ要請あり。

Q11、調達困難な物品の具体例

NO	業種	総従業員	文書回答
117	建設業	50人～99人	養生テープ、養生材などビニール製品の入手が困難になっている。また電線などの銅建値が高騰している中被覆の材料もナフサの影響で高騰しメーカーからの値上げ案内が一方的に来る状況。顧客から受注をしても金額が合わず結果、利益を削ってしまう。
118	建設業	100人以上	10月よりLIXILの価格が1.5%上昇
119	建設業	100人以上	採水容器が入手困難になりそうです。
120	製造業	1～4人	ビニール類、肥料(リン酸系)
121	製造業	1～4人	梱包資材が不足気味、大手サイト(モノタロウ、アスクル)にて購入、現在は購入制限または欠品が出ている。
122	製造業	1～4人	刃物の再研磨・加工工程で必須となる「切削油」の供給・価格高騰に不安が生じております。現在のところは自社に確保してある在庫で何とかやりくりできている状態ですが、中東情勢の緊迫化による原油由来製品の不足や価格上昇が今後も長引けば、次回の発注時に調達が非常に困難になる、あるいは大幅なコスト増に直面すると強く危惧しております。加えて、直接的な品物の調達困難だけでなく、エネルギー価格高騰に伴う「電気代等の光熱費」の上昇も大きな懸念材料です。機械を稼働させ続ける実務特化型の町工場にとって、電気代の高騰は利益を直接的に圧迫するため、事態の長期化を非常に心配しております。
123	製造業	1～4人	現時点で全く手に入らないものはニトリル手袋。包装資材などは不足がちではあるものの、まだ全く入らないという実感はない。
124	製造業	1～4人	PPバンドやストレッチフィルム等は調達困難ではあるが、現時点では在庫もあるので何とかなっている。
125	製造業	1～4人	塩ビやアクリルの板材がやや入りにくくなっている。今後が不安
126	製造業	1～4人	買いためする業者がでてくるため、特定の材料は、メーカー管理商品になっており、過去の実績ベースでの量を考慮して、メーカーが許可した数量が間屋より納入されている。現在は、一か月前に注文をいれている。現状、材料は、予定どおり入荷している。接着剤関係も無いとのことだったが、一週間もしないうちに入荷した。
127	製造業	1～4人	マスキングテープ、ナフサ由来の容器、緩衝材、油紙。
128	製造業	1～4人	ゴムのりの在庫が無くいつ入荷するのかわからない。入荷しても価格は倍になると言われた。
129	製造業	1～4人	通常入手していたポリエチレンの入手が困難。塩ビの材料が通常1ヶ月が3ヶ月必要になった。人材不足の影響と聞いている
130	製造業	1～4人	ナフサ不足により協力会社の動きがよくない
131	製造業	1～4人	プラスチック材料の値上げ 特にPP。
132	製造業	1～4人	設備に使っている、モーター(エンジン?)のオイル。これは、1年変えていなくても、大きな問題ではないので、たいしたことではない。パレットの梱包に使う、資材の入手困難が予想される。(ストレッチフィルム・PPバンド)
133	製造業	1～4人	梱包資材、緩衝材のプチプチやストレッチフィルムが品薄で入手が見通せない。
134	製造業	1～4人	印刷用溶剤の入手が困難になっている。1か月待ちや、入荷未定のものもある。なんとか代用品でカバーしている。
135	製造業	1～4人	塗料用シンナーの入手が困難な状況ではあるが、代替品での対応にて現状乗り切れる見込み。その他仕入れ材の価格上昇が落ち着く目途が全く見えてこない。
136	製造業	1～4人	一部の工業用潤滑油が入手しにくくなってきている。代替えなどで対応するが、果たして従来品と変わらないのかは不明。
137	製造業	1～4人	塗装用シンナー、作動油
138	製造業	1～4人	機械油が調達困難。既存の商社から新たな調達先に切り替えることで回避できたが、既存商社との関係性が微妙になった。原材料は10%上昇に加え、先々調達困難が予想される為、過剰に在庫を抱えるも、肝心の仕事の受注が少ない。
139	製造業	5～9人	溶接用のタングステン金属の不足
140	製造業	5～9人	梱包資材の調達困難。ビニール袋、PPバンドなど納品予定がはつきりせず不安を感じる
141	製造業	5～9人	機械用潤滑油や防錆油が入手困難になり始めている。今の社内在庫が無くなった場合、対処方法が見つからない。
142	製造業	5～9人	現時点で、著しく調達困難となっている品目はありません。ただし、アルミ板材、ステンレス材、溶接ワイヤー、切断砥石、研磨材、アルゴンガスなどについては、原材料価格、物流費、エネルギーコスト、人件費等の上昇を背景に、価格上昇の影響が見られます。
143	製造業	5～9人	資材等の値上がりにより、物が発注より少なく、遅延しています。
144	製造業	5～9人	アルコールが不足している。鋳造用の塗型材メーカーにエタノール・メタノールが入荷制限されている。アルコールは塗型材を大量に希釈するために必要で、不足すれば製品の生産が停止する。
145	製造業	5～9人	塩ビ製パイプ、継手類がメーカー在庫が無いとの事で発注しても納期が未定である。
146	製造業	5～9人	溶接作業で使う タングステン等の レアアース関連材料が不足しています。
147	製造業	5～9人	プラスチック部品の仕入れが受注停止と案内がされた。現在は社内在庫があるためすぐに影響は出ないが、今後中東情勢悪化の影響が長期化する場合に部材調達に影響が出る可能性がある。
148	製造業	5～9人	包装用のストレッチフィルムはこの2か月で2回値上げがあったが、調達はまだまだできます。
149	製造業	5～9人	シンナー、PPバンド、ストレッチフィルムの調達が困難。塩ビ関係製品の受注制限。
150	製造業	5～9人	ナフサ不足の影響で溶剤関係が前年の半分以下の数量でしか入手できない。また値上げが毎月有り前年より6割近く価格が上がっている。
151	製造業	5～9人	今のところ、具体的には影響はない。仕入れ先から今後の可能性として供給困難もありえるとの事。
152	製造業	5～9人	パッケージや梱包資材が新規で生産は難しいと回答有。新事業などは現状ではベンディングするしかない。金属なども大幅に価格改定が来ている
153	製造業	5～9人	梱包資材、金属保護フィルムなどが入手困難
154	製造業	5～9人	塗装、防水に関する材料が入ってこずトイレ製作に影響が出ている。
155	製造業	5～9人	機械の油交換が出来ない
156	製造業	5～9人	油の入手困難で組み付け用のベアリングが入手できるか未定。先の見積もりをしてもその時にあるかどうかかわからない状況。
157	製造業	5～9人	チェック付きポリ袋をたのめーるで発注したら10日の納期遅れがありました
158	製造業	5～9人	シンナー不足による塗装部品の調達困難。電気部品最大8割値上げ
159	製造業	5～9人	ステンレス部品の値上げ、納期遅延
160	製造業	5～9人	切削油や潤滑油などの油価格の高騰しており、今後の仕入れ量も不安がある。
161	製造業	10～19人	IPA(メチル系アルコールの一種)を使用しているが、一斗缶で納入が困難であり、ドラム缶ならありますとの連絡がきたが、そこまで必要が無いのと、消防法に抵触するので購入は先送りにし、現在は代替品で対応している。ホルムズ海峡の影響もあるでしょうが、便乗した転売ヤーが多いのだと思います。
162	製造業	10～19人	梱包する際に使用するストレッチフィルムが品薄感からの受注増があり、手配数制限が掛かっている。また、SUS研磨材のオモテ面に張り付けるレーザ加工機用フィルムも手配数制限が掛かっており、夏以降の納入状況の見通しが不透明。
163	製造業	10～19人	ギアオイル160、タービン油32、グリソム番、梱包用ラップ18μ
164	製造業	10～19人	PPバンドなど、調達困難。加工油関係、揮発性プレス加工油11、30%値上がり、油性プレス加工油11、15%値上がり
165	製造業	10～19人	タンダステン(中東情勢ではなく レアアースに伴う製品)
166	製造業	10～19人	多めの発注がインキ、フィルム、溶剤関係全て禁止されています。
167	製造業	10～19人	塗装用シンナー、梱包用の様々な梱包材、接着剤(ボンド)が調達困難。アルミ、ステンレス材料値上げ、材料使用する保護テープ(ファイバーSG)高騰、入手困難
168	製造業	10～19人	接着剤が5月に入ってすでに2回値上げをされています。6月にもう一度は値上げがあるということ。
169	製造業	10～19人	ワニス、シンナー
170	製造業	10～19人	発砲スチロール系の商品。コンパネの販売調整。
171	製造業	10～19人	メモリー、センサー類が不足している。センサー納期が400日であり製造スケジュールに影響している。
172	製造業	10～19人	米袋などの包装資材や塗料・シンナーが、メーカーの原料手配が困難らしく、過去の実績取引量程度しか仕入れできない。中国から輸入している「磁石」は、中国側の規制によって、全く入荷していない。目途も立っていない。
173	製造業	10～19人	塗料系値上げと仕入れ難。材料価格の高騰
174	製造業	10～19人	アクリル板は石油商品のため、入荷困難になりつつある 現状は2ヶ月くらい分の在庫はあるがそのあとは納期、価格はまだどうなるかわからない
175	製造業	10～19人	スチレンパネル、アルミ複合板、プチプチ

Q11、調達困難な物品の具体例

NO	業種	総従業員	文書回答
174	製造業	10～19人	樹脂原料（30%の値上げ済み）の納期確定が出ない。ナフサ由来の各種添加剤の一部の入荷予定が決まらないため。塗料（20～30%の値上げ済み）新規調色の塗料を受け付けてくれない。昨年購入実績のあるもののみ対応。塗料用溶剤（80～100%値上げ済み）納期確定が出ない。塗料（溶剤）メーカーに原料（トルエン/キシレン等）が入荷しないため。
175	製造業	10～19人	一部遅れながらもプラ板、テープ他順番待ちだが今後の7月から年末に向けて対策が気になる。
176	製造業	10～19人	すべての溶剤がK100円以上上がっていて3月までナフサ価格66000で買っていたものが4月から120000とか150000でないと買えなくなった。尚且つアロケーションがかなり一時は全く見当がつかない状況だった。6月以降は、多少は、改善されるようだが単価は期待できないようだ。
177	製造業	10～19人	調達は可能だが納期がかかるようになった
178	製造業	10～19人	3月に雑貨で使用されるPP（ポリプロピレン）が大幅な単価の値上げがあった。値上げ後の単価で注文した原料が4月に入り、急速キャンセルに扱いに。代替え材料を探してもらおうが、こちらも価格は割増単価。
179	製造業	10～19人	特注色の制御BOXや銘板が調達困難になってきています。この先電線や樹脂製の制御部品、半導体などが入荷しなくなると製造の状況が致命的になります。
180	製造業	10～19人	包装資材。消耗品について、入手不可能なものが出て来ている。価格は40%増
181	製造業	10～19人	塗料、塗装用シンナー、サビ止め塗料、超硬切削工具類、パーツクリーナー、マスキングテープが入手困難
182	製造業	10～19人	サビ止め塗料の入手困難。客先から支給してもらった
183	製造業	10～19人	間屋 キラックス 包装資材 真空袋 仕上った食品製品を入れる袋
184	製造業	10～19人	物がなく価格の上昇
185	製造業	20～29人	半導体不足の影響が電子機器部材の値上げと供給不足が著しい。
186	製造業	20～29人	作動油の調達困難。NEOS社が作動油の取扱中止の為作動油が滞っている。
187	製造業	20～29人	ストレッチフィルム、部品洗浄液などの調達が困難。また、すべての部材が値上げ傾向
188	製造業	20～29人	今のところ調達困難なことはないが、先行きが不安であるため、在庫をしようと通常よりも多い発注をしたら、承認されなかった（オンデマンド印刷機のトナー）。いつ値上げされるか不安である中、準備をしようにもメーカーから出さないとと言われると調達できないのは不安になる。
189	製造業	20～29人	トナーの不足、急な値上げを危惧している。まとめて発注しても希望通りの数量を受けてくれない。
190	製造業	20～29人	塗装用シンナーが調達困難のとうわさがあり1年分181×12を確保。当面は大丈夫。しかし印刷用インキが値上がり1.3～2倍これの価格転嫁が難しいので困っている。先日値上げしたばかりで度重なる値上げに苦労してます。
191	製造業	20～29人	アイカ工業製のCR系接着剤が受注停止状態。代替としてコニシ製のものも使用しているが、通常の仕入れルートで購入している15kg缶ではなく、ホームセンターなどで小分けされたものををかき集めている状態。溶剤として使用している酢酸エチルは今の所オーダーはすべて通してくれているが、いつ通らなくなってもおかしくないとされている。住友電工製CRゴム引布については製造工程で使用する洗浄剤が入手しづらくなっているとのことで、納期が通常よりもかかってしまっている。他メーカーのCSMゴム引布（外国製？）については現状入手不可とのこと。
192	製造業	20～29人	梱包材の入手が滞る代替品にする際、メーカーの承認が必要
193	製造業	20～29人	作動油、潤滑油の入手困難。複数の仕入先を増やし対応している。
194	製造業	20～29人	包装資材、保存料など
195	製造業	20～29人	シンナー、塗料、機械加工用の油
196	製造業	30～49人	合板については、接着剤不足により国内メーカーは30%ほど減産をしているため、一時的に品薄な状況になっている。輸入製品も欠品が増えているが、輸入統計を見る限りはそれほど減っておらず、先高観による買い占めや売り惜み等の影響が出ているものと思われる。
197	製造業	30～49人	PPのパーজন材料の入荷が遅れている。プライムポリマーは、4月は月末に遅れて入荷したが、5月は入荷予定はない。6月になりそう。ABSの関係ではUMGは材料の入荷が困難、価格は毎月上がっている。塗料は1.5倍以上になっているが、まだ、必要分は入荷している状況です。9月以降は、再生材料の価格も上昇しそうです。
198	製造業	30～49人	使用する備品（ラップ・養生テープ・OPPテープ・ニトリル手袋など）の不足・価格高騰客先からの支給部品の遅延
199	製造業	30～49人	インキ溶剤の品不足
200	製造業	30～49人	①樹脂の板材、特に色板や特殊な材料、塩ビなども。②梱包資材、エアークラップやクラフトテープ、ビニールなど③シンナーや塗料、これはあるが値上げが激しいと予想
201	製造業	30～49人	鶏舎の天井用パネルが9月以降生産中止になるかもしれない
202	製造業	30～49人	塗装用シンナー及び機械作動油潤滑油が入手しづらいが、少量は入ってきているので、取引先から入荷の連絡があった都度購入して、以前より在庫を持つようにはしている。また、機械梱包の為のビニール等も入手できないが、海外の代理店に依頼して送ってもらっている。日本は商流上中間業者が多い悪さが出ている気がする。
203	製造業	30～49人	樹脂材料の出荷制限が始まっている
204	製造業	30～49人	主要原材料である樹脂材料の入手が難しくなっている。3ヵ月分の必要量は資金的に無理をしながらも調達したが、夏以降の分はいつ入手できるか見通せない。調達できたとしても、価格は昨年比で30%は上がっているため、利益確保が難しい。
205	製造業	30～49人	溶剤系のボンドが仕入困難
206	製造業	30～49人	工作機械の作動油、シンナー類、手袋などが入手できない。手持ちの在庫が少なく不安。超硬合金（材料）が入手できない、入手できたとしても価格が異常に上昇している。
207	製造業	30～49人	超硬工具、材料が入手が難しくなった。これは中国のレアアース規制によるものと思われる。
208	製造業	30～49人	機械潤滑油の入手難で通常商社外から購入している
209	製造業	30～49人	特に、調達困難な原材料はないが、価格上昇が大きく、継続的に上がってくるので、価格改定に追われている状況
210	製造業	30～49人	塗料、シンナーの供給が不安定化。量はいままでの半分程度。値段は1.5倍から2倍の間ぐらいで仕入れ価格が上昇した。塗料メーカーに次にいつナフサが入るのでそのタイミングで割り振られるとのこと。顧客へは見通しが立たない旨連絡し、値上げと納期が遅れる可能性をのめれるとこに供給している。塗装に関わる商品については売上低下。
211	製造業	30～49人	タンクステン価格上昇により、超硬の発注制限されていることがある。
212	製造業	30～49人	苛性ソーダなどが入りにくくなるような情報が入ってきている。
213	製造業	30～49人	接着剤の仕入れが難しくなっている。高騰している。
214	製造業	50人～99人	当社の繊維原料は、全て、ナフサ由来なので、値上げは進んできており、更に供給量削減される可能性も暗示されており、予断を許さない状況が続いている。
215	製造業	50人～99人	プラスチック製品（ストレッチフィルム・ビニール袋）やペットボトル等増産分が供給できない。前年と同量までしか供給できない。
216	製造業	50人～99人	切削油の入手が困難になりつつある状況。
217	製造業	50人～99人	昨日、プラスチックフィルムを手配したところ納期未定の回答。新規の案件の受注は受けられませんという会社が多い。まだ、弊社には大きな影響はないが、周りの会社からは仕入れ困難の悲鳴が届く。色々な危機があるが、我々のところにはいつも少し遅れてやってくる。5月末から6月にかけて影響が出始めるのではないかと感じている。受注産業で、前の工程で仕上ったものを2次加工しているの、溶剤、素材が枯渇すればおのずと止まる。何か止まれば、自動車、家電等の生産ラインが止まれば、注文は止まる。仮に、ナフサの供給が再開されたら、さらに物資の取り合い、人手不足、インフレに苦しむことになるかと想像するが、年内では解決しない気がする。
218	製造業	50人～99人	ゴム材料全般、副資材全般
219	製造業	50人～99人	ストレッチフィルム、ビニール系の手袋、潤滑油 など。6月分使用分までは確保済、だが、都度確認が必要な状況が続く。
220	製造業	50人～99人	塗装色によっては、入手が困難になってきている。
221	製造業	50人～99人	直接ナフサ関係の物だけではなく全ての物が値上がりしている。受注制限を設けている企業も出てきている。今後電力費等も上がるのでかなり影響が大きい
222	製造業	50人～99人	副資材の調達困難。シンナーの入手困難
223	製造業	50人～99人	塗料用のシンナー、機械の潤滑油、梱包材
224	製造業	50人～99人	食品用包装資材の値上げ、調達困難
225	製造業	50人～99人	発泡ウレタンの断熱材原液の調達困難。プラスチック部品の仕入れ価格が軒並み上昇。プレス機械に使用する油脂類の受注停止。
226	製造業	50人～99人	ニトリルグローブの輸入
227	製造業	50人～99人	一部、ポリエチレン・ポリスチレンの材料（ペレット）が入手困難なため、代替品での評価を実施。
228	製造業	50人～99人	塗料やシンナーが入手困難であるが、使用量が少量のため、何とか欠品にならずに済んでいる

Q11、調達困難な物品の具体例

NO	業種	総従業員	文書回答
229	製造業	50人～99人	製品への異物付着防止用の梱包ビニールシート（ポリエチレンフィルム）がいよいよ枯渇となった。問屋に確認すると原材料不足で受注は受けられないとのこと。
230	製造業	50人～99人	油性クーラント（加工時に使用する冷却水）、油性の洗浄液が入手困難。樹脂製のケースにも今後の影響が懸念される。
231	製造業	100人以上	防錆塗装のなかで赤さび5674が不足している。グレーの方が需要が高いため製作の優先順位が低い
232	製造業	100人以上	シンナーは、入手困難で価格は2～3倍。マグネットが入手困難。今のところ、その位ですが、鉄がじわじわと価格があがっている。輸送費も上がってきている。今まで、郵送費を請求してこなかった当社が今後は、請求しますと通達があった。鉄の加工品の値上げに対応出来ないで、下請け業者が撤退したいとの申し出があった。
233	製造業	100人以上	包材に関しては、第3弾の値上げが短期でできておりまた7月以降の供給について明言されていないため商品を放送する包材が確保できるか不透明
234	製造業	100人以上	テープやマスキングフィルム、有機溶剤が入手困難。
235	製造業	100人以上	当社の製品を製造する主原料（高純度アルミナ）の値上げに加えて、出荷制限の話がある。まだ出荷制限は実行されていないが、実行されると大きな問題となる可能性がある。シンナーや潤滑油、作動油関係はかなり調達困難な状況。
236	製造業	100人以上	使い捨て品（手袋、エプロン、シートなど）
237	製造業	100人以上	現時点では影響は少ないが、8月頃からプラスチック製部品が入手困難となる懸念あり。
238	製造業	100人以上	プライマーが仕入れ困難。スチレンパネルの受注停止（一時的と言われているが）
239	製造業	100人以上	資材調達困難、価格急騰、輸入原材料の円安影響
240	製造業	100人以上	ホルムズ海峡封鎖の影響で物流が滞っており、副資材である「インキ、クラフトテープ、ストレッチフィルム」など、20%以上の価格改定並びに購入制限もあるが、価格転嫁が難しくもあり、収益性の悪化要因になっている。
241	流通・商業	1～4人	シンナー不足から、仕上げ用ラッカーが調達できず、一部の受注ができなくなっている。
242	流通・商業	1～4人	ゴムシートの関連が6月あたりから品薄になりそう。
243	流通・商業	1～4人	アセトンに関してパーズン材も再生材も滞っている。納期も決まらない。三和油料というメーカーからは回答が全くない。日油のMEKもほとんど入荷しない。昔から付き合いのある他社でなんとか代用品を入れて貰って対応している。
244	流通・商業	1～4人	ゴム手袋の入手が困難
245	流通・商業	1～4人	工業用潤滑油。生産停止商品の影響で発注の破りが出ていることは予想され、余剰生産や余剰在庫を出さないために元売で調整をしている。燃料に関しては当社経由で業転玉を購入していた需要家や、入札で業転玉を使用していた行政関係に供給不足が起こっていると思われる
246	流通・商業	1～4人	OA機器の販売だが、メーカーに在庫がある状態。要因は生産は通常、販売が減少しているらしい。
247	流通・商業	1～4人	ビニール袋が入らない。在庫を増やしているが、限界がある
248	流通・商業	1～4人	FRP成形用硬化剤（メチルエチルケトン）、アセトン等の供給が滞っている。
249	流通・商業	1～4人	ナフサ由来の建設資材が不足して現場が止まっている。ゆえに、弊社の需要が生まれない
250	流通・商業	1～4人	パルーンのインクを剥がす用に使っているパーツクリーナー、梱包用に使うガムテープが調達困難。他のもので代替えはできるが心配。
251	流通・商業	1～4人	プレーキフルード、及びATフルードが著しく調達困難。部品商のチトセ自動車社に問い合わせをしたところ、在庫が過小であり、回復する見通しも現状無いため、オーダーストップされている。
252	流通・商業	1～4人	OEM先からグリセリンが手にはいらないのでまだ在庫はあるが今後はわからないとのこと
253	流通・商業	1～4人	サプライチェーンの上（原材料業者）が弊社の仕入先メーカーへの原材料（石油由来のもの）の販売量を調整しているため、仕入先メーカーが製品の製造量が限られ、我々の希望する仕入量を抑えなくなっている。
254	流通・商業	5～9人	石油原料の商品が95%で供給不履行が発生している。（出荷規制）仕入価格が35%上昇、価格転嫁が間に合っていない。もともと粗利25%の所35%以上の仕入れ値上昇で、瞬間10%以上の逆ザヤとなっており経営に直撃している。
255	流通・商業	5～9人	タングステンの中国輸出規制による価格の上昇。客先に価格改定は可能だが、客先の生産コストを低減させる為に、提案力が必要になる。
256	流通・商業	5～9人	プラスチック製品全般
257	流通・商業	5～9人	混合燃料、パーツクリーナー、シーキング剤や養生テープ、気密防水テープなどが入荷しないです。メーカーも中東情勢によるでどのくらいで等の見通しの質問には一切回答してくれないです。
258	流通・商業	5～9人	塗装に使う資材全般入手困難
259	流通・商業	5～9人	弊社は自動車用塗料販売と副資材の卸業者です。現時点では政府の取り組みがあったせいかラッカーシンナーは入荷するようになったが、その当時話題にならなかった物のほとんどすべてが値上がり、供給不安定になっています。テープ、養生用ビニール、切削用ペーパー、塗料、硬化剤、クワイヤー、容器、磨き用コンパウンド等々、毎日納期未定や値上げのFAX・メールが大変なことになっています。
260	流通・商業	5～9人	大きな影響は受けていませんが食用油の価格が上がりました。理由としてはコロナの時にマスクが手に入らない時と同じく油を貯め置きしていることが原因らしいです。また、購入数の制限も影響が出ています。
261	流通・商業	5～9人	シンナー（うすめ液）、スタイロフォーム（断熱材全般）、シーリング材、住宅建材（屋根、外壁、床養生、サッシ廻り）のシート系全般、住宅設備（風呂トイレ）、住宅用気密防水テープ。全メーカー、全品番で困窮しているので、具体的に挙げるのが難しい。
262	流通・商業	5～9人	洗浄剤、油脂、グリス、などに既に影響が出ている
263	流通・商業	5～9人	仕入商品の乾麺類がナフサ問題でパッケージが作れず欠品になってます。現行だとパッケージ費用が倍以上増加するので、費用を抑える方法を模索中との事です。
264	流通・商業	5～9人	野菜苗のポリポットなど、すでに発注できない状況。
265	流通・商業	5～9人	油圧作動油に関して、過去実績に準ずる量は、ようやく来月くらいから、確保できそう。産業用油（各種）が欲しいとの問合せが多数多方面から、弊社に届いているが、弊社過去実績に無いものは、対応できない申し訳なさがある。それだけ多くの方が、油で困っている。油精製メーカー（E社）へ聞いたところ、公的施設を優先しているとのこと。民間向とりわけ過去実績量の少ない我々中小企業への供給が最後尾になっていると思われる。
266	流通・商業	5～9人	賃貸事業において大体が値上げされて、モノが確保できない。
267	流通・商業	10～19人	ラップ、養生テープ、キャップ等の梱包・養生資材について、現在調達が困難な状況となっております。取引先資材業者へ確認したところ、メーカー側での生産遅延および供給不足の影響により、次回出荷時期の目途が立っていない状況との回答を受けております。当社としては、既存取引先を通じて一定数の在庫確保を行っておりますが、同業他社への確認においても、「早くても6月頃より順次入荷予定」との情報があるのみで、現時点では安定供給の見通しは立っておりません。
268	流通・商業	10～19人	エンジンオイル、アドブルー、梱包資材が入手困難。
269	流通・商業	10～19人	商品を養生する為のラップの仕入れ価格の高騰。またオイル関連も在庫が少ない状況でオイル交換もできなくなる見通し。
270	流通・商業	10～19人	ディーゼル用オイル「DL-1規格」のエンジンオイルがない。どのメーカーも受注停止。納期未定。B0していた分もキャンセルになった。アドブルー。こちらも納期未定。とはいえ、弊社では複数社取引しているため、オイルは在庫分を考えれば1年程度はもつ予定。アドブルーもそもそもお客様数が少ないので、損害軽微。
271	流通・商業	10～19人	商品を入れる包装資材。半年分は確保したが、そのあとは状況次第
272	流通・商業	10～19人	客先から接着剤の入手が困難と連絡を受け、各メーカー問い合わせしても入手が困難な状況。ホームセンターを回り、10月分までは確保したものの、その後は未定。
273	流通・商業	10～19人	切削工具用の超硬が中国から輸入停滞の影響をモロに受け、国内メーカーは右往左往している。大手メーカーは海外ルートで確保の目途は立っているも、中小メーカーは入手困難の為、特注品の受注停止、都度見積りなど、過去に無い対応を強いられている。原油由来製品の潤滑油、樹脂製品にしても価格高騰だけでなく、販売数量制限やスポット案件の受注停止、レポート品でも従来の半分のみ供給等々、政府が発表している内容には程遠い状況が続いている。あらゆる物が値上げされているが、落ち着いた時にはその分下がるのかは甚だ疑問である。
274	流通・商業	10～19人	注残多数 メーカー小出しなのでどの発注分かわからない ① アルミ複合板 現状2か月以上待ち 今月入荷分は3月発注分 ② インクジェットプリンター用インク 一部メーカー（エプソン）入荷未定。③ スチレンボード 入荷未定。④ 両面テープ 一部メーカー（コニシ）入荷未定。⑤ インクジェット用メディア 一部メーカー（パンドー） 入荷未定。⑥ 他諸々化成品入手困難中。
275	流通・商業	10～19人	エンジンオイル（ディーゼル用）がディーラーでも確保できないとのこと。

Q11、調達困難な物品の具体例

NO	業種	総従業員	文書回答
276	流通・商業	10～19人	中東・・・ビニール袋、その他製品に購入数量制限がある 油（作動油）が手に入らない 輸送費、ほぼすべてのメーカーの改定は来ます あまり関係ないと思われるところからの文面にも中東情勢と入っています ある種の便乗だと思いますが必要だと個人的には感じます 弊社加工部品メーカーの顧客が価格転嫁出来るところとそうでないところがある 番外 中国レアメタル・・・超硬工具の受注停止や見合わせがある（標準品が受注生産品に当面切り替わる対応のメーカーもある）
277	流通・商業	10～19人	材料仕入れと商品仕入れが出来ない
278	流通・商業	10～19人	軽油の仕入れが困難になった。インタンクへの注文をした際に日程、数量の調整があった。
279	流通・商業	20～29人	ゴミ袋系
280	流通・商業	20～29人	ビニールのふくろ
281	流通・商業	20～29人	シンナーが不足しており、塗装が困難になっている。ナフサが不足することにより樹脂製品の入手が難しくなる可能性があり、価格も上がる可能性がある。
282	流通・商業	20～29人	代替品が効かない、時間がかかる商材。例えば防音商材などは、接着剤を代替すると再度試作し音響調査をしないと市場にだせないため、結果的に受注ストップとなる
283	流通・商業	20～29人	油圧機器の作動油、ディーゼルエンジン用のアドブルー
284	流通・商業	20～29人	軽油 支給の優先順位があるため
285	流通・商業	30～49人	電線の一部が出荷停止及び出荷制限がかかっており、電気工事の見通しが立たない現場がでてきている。まとめ買いする業者も多岐にわたる必要で遅くなっているのか推測できない。
286	流通・商業	30～49人	コンビニエンスストアなので、レジ袋、スプーンなど、ビニール系が欠品する可能性があり、商品への値段転嫁が起きると思う（例：ペットボトルの値段が上がる）
287	流通・商業	30～49人	調達困難とまではしていないが、燃料やアドブルーなどの納入に多少制限を感じている。業者によってはオイルなども品薄になっているとのこともあり、6月以降が心配される。
288	流通・商業	30～49人	①建設機械については従来使用量については納期は少しかかるがメーカーは滞らないように提供するとはいえるがそれがいつまで可能なかは不明。②塩ビ管、空調配管は入手が困難と聞いている
289	流通・商業	30～49人	塗料、シンナー、オイル類、グリスが入手困難。
290	流通・商業	30～49人	石油から作られる全ての物が入手困難。ジャストインタイムを行っているような会社が1週間分でも確保したらとんでもない事になる。
291	流通・商業	30～49人	燃料油、エンジンオイル
292	流通・商業	30～49人	左官材料、接着剤等の枯騰、金額高騰
293	流通・商業	50人～99人	塗料類なので全般的に厳しい中でも特に錆止め、下塗り関連が特に足りない
294	流通・商業	50人～99人	油脂系オイル、燃料、アドブルー
295	流通・商業	50人～99人	各社修理会社からエンジンオイル交換について見送りの話があり、一時的にエンジンオイル交換が出来なくなっている。エンジンオイル・アドブルー・ストレッチフィルムも購入価格が1.5倍になっている。
296	流通・商業	50人～99人	各メーカーの出荷制限により、通常の30%～50%調達しかできない。3月はシンナーが不足していたが、塗料も無くなると予想され、現在はさび止め、プライマーなどの下地材が、全く入手できない状況である。メーカーも製造はしているようだが、どこに行っても手に入らないか、弊社は回ってこない現状です。
297	流通・商業	50人～99人	軽油、エンジンオイル、尿素
298	流通・商業	100人以上	薬剤を一化化する分包紙、軟膏を小分けするプラスチック容器が手に入りづらい。
299	流通・商業	100人以上	エンジンオイルの受注がとまってしまっています。自社使用分も在庫確保した予定であったが、今後の入荷予定がないとなると半年程度しか持たない。ストレッチフィルムの調達も困難であると聞いている。同じく半年分の在庫は確保できたがそれ以上は不明である。アドブルーは単価があがったものの調達リスクまでは達していない
300	流通・商業	100人以上	エンジンオイル、化学製品のカー用品（洗車メンテナンス用品、オイル関連）、梱包資材
301	流通・商業	100人以上	中東関連ではないが、中国のレアアースの規制により、超硬切削工具の生産が減り、受注を受け付けなくなった。そのため、必要な工具の仕入れが困難になるケースが出てきている。また、6月から超硬工具の価格が65%上がるとの連絡があり、普通の値上げではないため、価格転嫁ができるか不透明。（この3月の値上げにおいては、10%ほどの値上げだったため価格転嫁できていた）
302	流通・商業	100人以上	商品の仕分けセンターで使うCバック（大きめの保冷用容器のようなもの。冷凍や冷蔵の商品の仕分け、運搬に使う）の入荷のめどが立たないため、既存のZバック（Cバックよりサイズが大きい）を使用して何とかしのいでいる。7月頃今後の見通しがわかる見込み。5月から様々な商品の遅配・欠品が多くなっている。オリコン類（商品を入れるプラスチックのケース）は140%値上げ。シッパー（冷凍や冷蔵の商品を入れる発泡スチロールの箱）は6月までは購入可能（その後の見直しは不透明）ただし価格は130%値上げ。
303	流通・商業	100人以上	積水化学工業（セキスイ）クラフトテープ、フィットライトテープ、エバーセルテープ、OPPテープ、エコラクロステープ、オリエンテープ、気密防水テープ、布テープ、スマートカットテープ、セロテープ、タフライトテープ、透明クロステープ、マスクライトテープ、両面テープ、プロテクトテープ、バックシーラーテープ ニチバンセロテープ、クラフトテープ、布テープ、カートンテープ、マスキングテープ、紙テープ、かりとめテープ、たばねらテープ、バッグシーリングテープ、ビニールテープ、フィルムクロステープ 包装資材商社です。5月18日現在の受注停止情報です。これをホームページ上に載せています。
304	流通・商業	100人以上	ラップの単価上昇と納入数量の制限があり、今後の調達が不安である。整備工場ではオイルの確保ができないため、先行きの見通しがたたない。
305	サービス業	1～4人	エンジンオイルの値上げ要請が来ている。ここ数年頻繁に感じる。メーカーにより便乗値上げもあるのではないかと考えている。メーカーの変更などを検討している。
306	サービス業	1～4人	資材が不足するなどの直接的な影響は無いが、顧客の事業に影響が出ており、報酬の引き上げや、スポット業務の報酬請求に抑制をかける状況となっている。
307	サービス業	1～4人	看板材料の主であるアルミ複合板の調達困難
308	サービス業	1～4人	エンジンオイルなど油脂関連品が入荷未定になっている仕入れルートを開拓して、価格が高くても仕入れる努力をしている
309	サービス業	1～4人	建築は多種にわたる協力業者の1つの部品が無くても完成に至らない。先行きが不安である。すでに施工が完成の未達に不安を覚えて発注を控えた。
310	サービス業	1～4人	アルコールを使った商品の入手が困難になっている。
311	サービス業	1～4人	清掃で使う洗剤類やテープ類が個数制限になったり、手に入らなかつたりしている。
312	サービス業	1～4人	オイル不足
313	サービス業	1～4人	今すぐではないがゴム手袋などの消耗品の入手困難になる可能性あり。
314	サービス業	1～4人	具体的な影響の顕在化は現在のところなし
315	サービス業	1～4人	自社ではないが、会社としての大きさや体力で、明暗の差が大きくなっていると、周囲を見て感じる
316	サービス業	1～4人	害虫害獣駆除 ▶ ゴキブリ用毒餌が仕入れ困難（他薬剤より比較的使用頻度は高い）
317	サービス業	1～4人	養生シートくらいです。
318	サービス業	1～4人	店舗清掃用の消毒やシャンプー、中身はあるが入れ物容器不足で入荷未定が続いているものがある
319	サービス業	1～4人	主要取引先（顧問先）である建設会社の、費用の支払や入金が著しく遅延、または当月内の回収が困難な事態となっています。 【具体的な理由・背景】当該企業の代表者（または財務担当者）に状況の聞き取りを行ったところ、同社の主要な元請からの原材料（ナフサ等）の深刻な不足から工場の稼働縮小・供給制限が起きているとのこと。これにより、当該企業でも製品の製造・販売がストップし、急激な売り上げ減少と資金繰りの悪化（キャッシュフローの逼迫）に陥っており、当方への支払いを一時的に猶予せざるを得ない状況であるとのこと。
320	サービス業	1～4人	量の材料であるスタイロフォームの価格が上昇している。今後の調達に大きな懸念がある。
321	サービス業	1～4人	建設業関係の取引先が多い
322	サービス業	1～4人	額や表具の資材高騰が懸念点
323	サービス業	1～4人	塗料など
324	サービス業	1～4人	PCパーツの高騰
325	サービス業	1～4人	メモリなど一部のパソコン部品が在庫切れになっているケースがある。
326	サービス業	1～4人	そんなに使うことも無いが、シンナーは10倍の価格となり、困る。また、スーパーなどからゴミ袋がなくなってきたのも困る。

Q11、調達困難な物品の具体例

NO	業種	総従業員	文書回答
327	サービス業	1~4人	シンナーの仕入れ困難は若干の回復は有るが、塗料のホワイト系の流通が入手困難になりつつある。テープ等のマスキング材料も困難である。
328	サービス業	1~4人	溶剤が値上げの可能性あり
329	サービス業	1~4人	経営コンサルタントのため、体だけが資本である。調達するものは、自動車用のガソリン及び事務用品であり、影響はほとんど感じない。但し、支援先の企業では、石油由来の溶剤やプラスチック類など、サプライチェーンでの断絶があり、どこかが、不正に金もけをしているように感じる。
330	サービス業	1~4人	OA機器でも、調達困難が生じている。新規建築の見積もりが、一気に25%アップして、新規建築を先送りにした。
331	サービス業	1~4人	印刷費の値上げ
332	サービス業	1~4人	新築木造戸建に関して。コーキング、クロスのみ、配管は発注しても納期未定の回答。
333	サービス業	1~4人	弊社は出店のお手伝いをしていますが建築費の増加で出店を断念されるケースが4件もありました。機械ロスです。
334	サービス業	1~4人	印刷自体に制約がかかることで企画デザインに影響する可能性もあるが、webデザインはいきるので、そこまで心配はしていない。
335	サービス業	1~4人	PCのCPU・GPU・メモリの仕入自体は可能だが、高騰かつ到着時期の遅延が発生している。
336	サービス業	1~4人	ペンキ・合板・電設機器
337	サービス業	1~4人	養生シートが売ってないです。
338	サービス業	1~4人	梱包材、特に真空用の袋が入荷の見通しが立たなく、代替品もなく、通販、卸、takeout事業がかなり難しい状況です。抱えている在庫も少ないので、残り2か月分しかありません。ネットで在庫を探しても3~10倍ほどの価格になっていたりと厳しく、マルシェの出店や、通販を止めるのか、他に何か策はないか考え中です。
339	サービス業	1~4人	イベント食材高騰
340	サービス業	1~4人	AIの台頭による受注減
341	サービス業	1~4人	ディーゼルエンジン車のオイルなどメンテナンス品の長期欠品
342	サービス業	1~4人	チェーンソーオイルの価格高騰が著しい
343	サービス業	1~4人	原価社員でカバーできる高単価案件の確保に時間がかかった。
344	サービス業	1~4人	古着の輸入遅延と価格UP
345	サービス業	1~4人	ナフサ問題により、住宅建築単価や期間に影響が出ており、それに伴い購入希望者と売却希望者の動きが鈍くなってきている。
346	サービス業	1~4人	塗装用シンナーが著しく調達困難。マスキングテープ等一部材料不足。
347	サービス業	1~4人	薬剤の一部買い占めによる欠品
348	サービス業	5~9人	半導体・メモリーの不足、OA機器の価格上昇、納期遅れ
349	サービス業	5~9人	お客様の経営状態が心配。特に建設業、食品業。
350	サービス業	5~9人	ビニール袋、分包装紙などが不足。
351	サービス業	5~9人	具体的に調達困難な事例は発生していない。
352	サービス業	5~9人	衛生資材(手袋、ガウン等)が懸念されるが、当面を見越して準備済み。影響が長期化したり、コロナの時のように収束後に価格が戻らないなどの問題が起きると心配ではあります
353	サービス業	5~9人	現時点ではありませんが、今後開発用PCの購入等では影響があるように感じます。
354	サービス業	5~9人	塗装用の養生シートやシリコンなどの充填剤、塩ビパイプなどの継ぎ手類が欠品や納期の遅延が激しいです。
355	サービス業	5~9人	気泡緩衝材、パネルが手に入りにくくなってきている。または値段が上がっている。
356	サービス業	5~9人	現状は問題ないが、大手メーカーの新商品の発売が延期になった事と、ものによって商材の仕入れが遅くなっている。
357	サービス業	5~9人	包装資材関係、ガス袋次の発注から納期未定
358	サービス業	5~9人	法人顧問先の経営が厳しくなれば、顧問解約が懸念
359	サービス業	5~9人	今回の問題もマイナスな事ばかりではない。むしろ戦略をしっかりとすればピンチがチャンスに変わる。何事も社会が変化するときにはチャンスの時です。
360	サービス業	5~9人	弊社は建築設計業だが、建築資材の入手困難や価格の高騰の報道により、2案件計画していた建築工事を顧客の判断で延期されている。具体的な入手困難や工期延長の必要性は現場からは出ていないので、マスコミ等の報道を見聞きした顧客が判断している。
361	サービス業	5~9人	塗料、ボンド、コーキング材
362	サービス業	5~9人	金融業界に関しては今の所、直接的な影響はない。ただ今後はお客様の利益が逼迫することで受注が減る可能性はある
363	サービス業	5~9人	エンジンオイルなど油脂類が調達困難
364	サービス業	5~9人	売上増加の見通しが立っていない
365	サービス業	5~9人	エンジンオイルの出荷停止特にディーゼルエンジン用のエンジンオイルの出荷規制が厳しい
366	サービス業	5~9人	パソコン等
367	サービス業	5~9人	ゴム手袋が入手困難になる事が懸念される。
368	サービス業	5~9人	エンジンオイルが入荷しない
369	サービス業	5~9人	エンジンオイル・LLC・ブレイキフルード等の油脂類が軒並み入荷停止及び著しい制限がかかっている。メーカーはより厳しい状況が6月以降起こるとの予測。
370	サービス業	5~9人	医療用手袋などが仕入れ制限され仕入れ出来なくなりました。
371	サービス業	10~19人	真空袋、ビニール類、包材の値上げが大きいメーカーで30%UP、ニトリル手袋。ラップ
372	サービス業	10~19人	パソコンやサーバー、ネットワーク装置などのIT機器。具体的にはAI稼働に必要なメモリ等の要件を満たした機器の価格が1か月単位で大幅に上昇しているのと、納期が1か月程度だったものが、最大4か月程度になっている。今後も2026年12月まではIT機器の価格上昇傾向が解消されることは無い見込みとなっている。
373	サービス業	10~19人	染み抜き用の油性のシンナーみたいなものが一時遅れが生じたが、すぐにとどいた
374	サービス業	10~19人	商社 巻きラップ 調達不可。トヨタL&F 作動油 調達不可 無印ガソリンスタンド レギュラーガソリン及び軽油 枯渇
375	サービス業	10~19人	溶剤、洗剤、包装用ビニール、ハンガー
376	サービス業	10~19人	建売業者やリノベ業者に土地や古屋を販売しているが、やや出口が渋り気味です。
377	サービス業	10~19人	現在、建設機械に使用する作動油、アドブルー、グリス等の資材について、調達が困難な状況が続いている。現時点では仕入れ自体は可能であるものの、供給量の減少や価格高騰が続いており、今後の安定供給については不透明な状況である。特に一部の仕入先からは販売を断られるケースも発生しており、必要量を確保できない場面が出てきている。背景としては、原材料価格の高騰や物流の停滞、メーカー側での供給調整等が影響していると考えられる。
378	サービス業	10~19人	パーツクリーナー クーラント等石油関係の商材。および、緩衝材すら影響を受けているとのことで納期が延びる可能性の指摘が入っている
379	サービス業	10~19人	人材不足
380	サービス業	10~19人	医療用手袋(ニトリルグローブ)、サージカルマスク、使い捨てエプロン、アルコール消毒液容器等のプラスチック製品、ガソリン・軽油等の燃料
381	サービス業	10~19人	顧客は影響が大きいとの話を聞いているが自社には直接の影響なし
382	サービス業	10~19人	ゴミ袋の仕入れが品切れになりつつあり、顧客への提供を中止した。
383	サービス業	10~19人	展示会用の壁紙など印刷関連の溶剤不足により入手できなくなりそうだが、ちょうどアジア大会で会場が使えずホッとしているが、長期化すると非常に問題です。
384	サービス業	10~19人	ニトリル手袋の今後の入手困難。問屋さんにも大量には購入出来にくくなっている。
385	サービス業	10~19人	梱包用の袋
386	サービス業	10~19人	グリップ交換の溶剤が手に入らない。
387	サービス業	10~19人	印刷用インク、印刷用紙の塗工材料が8月以降不透明。
388	サービス業	10~19人	石油に依存する印刷仕入れの高騰が予測不可。6月に値上げ要請を受け入れ顧客転嫁もしたが、将来的には受注減の加速に繋がると予測する。また、さらなる印刷仕入れの値上げも懸念材料となっている。
389	サービス業	10~19人	医療用品の調達遅延、値上がり
390	サービス業	10~19人	塗料、シンナー、塗装にまつわる溶剤、マスキングテープ、マスキングビニールシートなど
391	サービス業	20~29人	梱包材の不足が懸念される。灯油が高すぎる。
392	サービス業	20~29人	福祉業界では使い捨ての手袋が入手困難、価格上昇がみられる。

Q11、調達困難な物品の具体例

NO	業種	総従業員	文書回答
393	サービス業	20～29人	半導体が関係している製品、PC、サーバ、ネットワーク製品が中東情勢の影響で、生産が遅れている為、今まで以上に市場価格がどんどん上がっている。
394	サービス業	20～29人	直接影響はありませんが、お客様に影響があり、仕事が減少しています。
395	サービス業	20～29人	製品に必要な包装資材が入ってこない
396	サービス業	20～29人	たまたま3月にまとめて購入済みの為、細かい部材の仕入れが困難ですが、無くても回るので、現状では大きな影響は出ていません。
397	サービス業	20～29人	プラスチック製の容器の値上げもしくは発注量の制限がかかっている品がある。
398	サービス業	20～29人	自動車整備工場。エンジンオイルが調達できずサービスの根幹に危機。さらに危機なのは社内や顧客に危機感が薄いこと。現状、補修部品の供給はまだ止まっていないが、包装材の影響で突然供給が止まる可能性があり、連動して業務が止まる。需要があっても対応が出来ず、閑散時に部品なしで出来る業務を考える必要がある。
399	サービス業	30～49人	食品梱包用資材が6月から30%から90%値上げ通知がきている 調達は出来るが大幅に価格が上昇するので、調達困難と同義
400	サービス業	30～49人	今の所はまだ無いが、持ち帰りのバック、ビニール袋等品薄になって来ている。
401	サービス業	30～49人	消耗品のプラスチック容器やプラスチック手袋が「納期未定」という回答を、仕入先業者からいただいています。
402	サービス業	30～49人	設備系の塩ビ管やトイレ関係の備品が時間をかければ入ってくるが、相当遅れている。修繕工事が全然できない状態である。
403	サービス業	30～49人	当社は、乗用車の钣金・塗装業です。4月からシンナー不足でメーカーが変わりました。硬化剤、パテ、ビニールシート、マスキングテープが発注数の半数又は、遅延して入荷してきている。同業他社は、特定の色が塗装できず仕事を断っているそうです。当社は、今のところ仕入原価が上がっているものの入荷はしてきています。ただ、この状況が続くと休業が避けられないかもしれません。手元に資金を残してできるだけ新規の投資は後に伸ばしながら、様子を見ている状況です。
404	サービス業	30～49人	薬を包む分包紙の入荷が不安定で卸経由ではなく直送になって確保しているが納入希望数には達していない。顧客に簡易包装化を言って回っていてある程度の理解を得ているが顧客へのサービス低下を容認していただいている状況。同業他社も同じもしくはもっと悲惨な状況で頼むに頼めない。早くナフサ不足、買い占め、目詰まりの防止策を早急にとっていただきたい。
405	サービス業	30～49人	手袋やマスクなどの衛生用品の調達が困難
406	サービス業	30～49人	ビニール
407	サービス業	50人～99人	ラテックス製手袋やプラスチック容器の仕入れが停止。
408	サービス業	50人～99人	仕入製品の製造コスト・物流コストが上昇・在庫調整にて納期遅延 いろいろ考えられます
409	サービス業	100人以上	今のところ大きく影響していないが、今後ユニットバスの出荷が遅れる恐れあり。また、接着剤不足による影響があるかもしれない。
410	サービス業	100人以上	ソーダなどに使う炭酸ガス不足と高騰
411	サービス業	100人以上	医療機関ですが今のところは供給に問題ありませんが今後プラスチック手袋やプラスチック製材料に影響が出る可能性があります。
412	サービス業	100人以上	プラスチックグローブの軽微な調達困難

Q12、調達困難に対する対処法（代替品・施策）

NO	業種	総従業員	文書回答
1	建設業	1~4人	代替品を提案して施主の理解を求める。
2	建設業	1~4人	受注の売り込み、そのものを変えて行く。アルミ材は、まだ大丈夫とも。内窓や、断熱窓の補助金対象品などを積極的に紹介して、夏の暑さ対策と掛け合わせている。
3	建設業	1~4人	仕入れ先に代替え製品を探してもらったり仕入れ先複数社に問い合わせ
4	建設業	1~4人	基本、お客様には同じ商品を、メーカー別で提案して、入荷できるメーカーで施工してもらう。見積の60日を、過ぎると見積をらさせてもらえようにはしています。
5	建設業	1~4人	シンナーなど
6	建設業	1~4人	防水材が入らない
7	建設業	1~4人	現状は、お客様と相談して、なるべく使用しない方向の施工を提案（できる範囲で）している。
8	建設業	1~4人	水性も無いです
9	建設業	1~4人	在庫で対応しているが、在庫がなくなればどうしようもなくなる。
10	建設業	1~4人	屋根下地材（アスファルトルーフィング）や断熱材をホームセンター巡りでかき集めている
11	建設業	1~4人	養生は新聞紙でするかくらいか（そこまで苦しんでいないが）。
12	建設業	1~4人	各種断熱材、構造用合板、防水シート、各種糊・ボンド、塗装用下地材、各種樹脂製品（ユニットバス、樹脂サッシ等）、給排水用塩化ビニール管、その他塩化ビニール製品多数。
13	建設業	1~4人	知り合いに相談
14	建設業	1~4人	材料の遅延、取引先からの仕事減少
15	建設業	1~4人	代替え等の製品も全て停止になったので、必然的に工事が延期になっただけ再入荷の時点では急な値上げのため、最小限に抑えるしかなく、時間もかかるため、対策の方法は皆無でした。負担が増えて、経営が悪化に追い込まれる状況です。
16	建設業	1~4人	塗装工事を請けないようにしている
17	建設業	1~4人	お客様に対して納期遅延を説明して工期を先延ばしさせていただいている状況。 代替品がないため、中東情勢に影響がない工事の受注強化。
18	建設業	1~4人	ホームセンターを回って少量は調達。
19	建設業	1~4人	LIXILのユニットバスに変えた
20	建設業	1~4人	現状では、まだ比較的入りやすいユニットバスを商談ですすめる形に対応しているが、今後は状況を見ながら対応を考えていかないとはいけません
21	建設業	1~4人	色々などにあたって何とかしのいでいる。ポリプロピレンの商品のめどが立っていない。
22	建設業	1~4人	どうしても必要なものがない場合は工事の延期
23	建設業	1~4人	若手人材の確保・育成に加え、働く環境や人間関係を整え、「この会社で働きたい」と思ってもらえる会社づくりが必要だと考えています。また、技術継承を進めながら、経営者自身も人との関わり方や伝え方を見直していく必要があると感じています。
24	建設業	1~4人	できるだけ早く発注する。仕入れ先との会話を増やす
25	建設業	1~4人	元々小規模現場のみの対応なので在庫、同業者に融通してもらうなどで対応出来る範囲と考えます
26	建設業	1~4人	サイズを小さくしてもらったり代替品にて対応
27	建設業	1~4人	看板の下地なども代替品をさがしている
28	建設業	1~4人	代理店的な立ち位置になるので対処となると難しいが、情報は早めに入手したい
29	建設業	1~4人	ナフサの影響で資材がない
30	建設業	1~4人	建材に代替品はほぼないのに等しい。一刻も早く情勢が安定化することを願うのみ
31	建設業	1~4人	代替品はなく工事を止めたり新規受注を受けられない状況。
32	建設業	5~9人	塗料の場合は色替え検討。その他に関しては納期を遅らせて対応予定
33	建設業	5~9人	事前に予約をし、作業の遅れを最小限にする。
34	建設業	5~9人	取引している間屋だけでなく、ホームセンターを回って手に入れたり、パイプが足りない分の配管の材料を別の管材を使用したりで対応している。
35	建設業	5~9人	ひとまず、エンジンオイルの調達は少し余分にしておいた。
36	建設業	5~9人	電気バッテリー工具もあるがパワー、バッテリーの使用時間、新規購入に問題がある
37	建設業	5~9人	代替品があるものは変えて取られるが、代替品がないものは施工ストップ完了時期未定となる
38	建設業	5~9人	商社での購入ができない状況の為、ホームセンター等で購入するしか現状方法がない。
39	建設業	5~9人	構造用合板に関しては代替えできる部分に関してはラワン系の使用。その他材は入荷待ち
40	建設業	5~9人	別の工法で対応
41	建設業	5~9人	塗装せずに出荷も検討している。
42	建設業	5~9人	待つしかない。早期決定、早期発注
43	建設業	5~9人	全ての仕入れが遅延、値上がりしている
44	建設業	5~9人	早めの段取り、交渉
45	建設業	5~9人	ホームセンターを回ったり代替品で対応したりしている。融通の利くお客様には待っていただく状況。
46	建設業	5~9人	内装材の棚は使用期限がある為、ストックにも限界がある。代替品もなく困っている
47	建設業	5~9人	代替品を使うにはリスクが高すぎる為検討はしていません。まずは試験施工を必須にして代替えできるのかを検討。入手困難になる前にシンナー等は確保済みではあるが時間の問題です。
48	建設業	5~9人	塗料の代替品も基本的には納期遅れがあり一緒の状況。
49	建設業	5~9人	樹脂製建材については木材製品に代替、仕入れ先は探し中
50	建設業	5~9人	受注済み工事の塗料は変更が原則できないため、これから先は代替品（水性等）での見積も含めて客先に提案をする必要が生じそうである。
51	建設業	5~9人	在庫対処しか出来ないで、無くなれば非常に厳しい状況になります。
52	建設業	5~9人	水性塗料に切り替えに移っているそう
53	建設業	10~19人	消耗品に関しては、早い段階で発注を行っていたため、現時点では作業への大きな影響は出ておりません。また、代替品での対応も可能と考えております。例えば、塩ビ配管については鉄配管への変更、VLP（鉄管内面塩ビライニング管）についてはSUS配管への変更など、状況に応じた対応ができるため、現状では作業への特段の影響は少ないと感じております。
54	建設業	10~19人	先買いはしたくないが仕事は止まるのはかなり厳しい為、情報が入り次第通常の倍仕入れしている（シーリング材など）
55	建設業	10~19人	代替案検討中
56	建設業	10~19人	全国各地で製造元に問い合わせ。各メーカーとのマメな情報共有で受注済みの案件は何とか施工している。
57	建設業	10~19人	現状対応策がない
58	建設業	10~19人	年内は特に問題ありませんが、取引先が今後問題を多く抱えています。取引先の売り上げが減り、連鎖倒産の可能性が少しですが見え始めました。興信所情報、銀行情報を常に収集しながら取引してゆきますが、こちらの経費が価格転換、困難なため今後該当する企業増えれば、取引停止など、視野に経営者判断でゆかなければいけないため、判断基準を幹部社員と話し合いを進めています。
59	建設業	10~19人	早めに発注して対応しているので今のところ間に合っている
60	建設業	10~19人	工期の調整を行っている
61	建設業	10~19人	代替品はないので在庫がなくなると工事ができない。
62	建設業	10~19人	塗装業は末端は目詰まりしているが、大手メーカー系菊水化研、SK化研は今のところ大丈夫。建材系も大手ハウスメーカーの資材部も納入遅れはありません。
63	建設業	10~19人	水道設備関係はないです。
64	建設業	10~19人	ある物への商品代替えは行なっているが、もうすでに限界のところですね。打開策をみつけたい。
65	建設業	20~29人	納期の余裕を大幅に見て注文で対応しているが、情報に敏感に対応している。
66	建設業	20~29人	通常取引先にはない場合はネット通販、ホームセンターなどで調達する。しかし、コスト増にはなる
67	建設業	20~29人	指定商品が入荷できないことが増えているので、メーカーや商社で同等の代替品を都度提案いただいておりますお客様に承認をもらいながら工事の遅延の無い様に現在は進められている。スタイロフォーム(デュボン)→スチレンブロック(アキレス)商品指定ボンド→同性能の代替品ボンド
68	建設業	20~29人	建材屋・商社で仕入れ厳しいものは高単価だがホームセンターなどへ社員が買ってくる
69	建設業	30~49人	塗料は油性を水性に変更するなど対処している。
70	建設業	30~49人	代替が効くものはお客様にお話をして変更を行なっています。また、後期の延長についてもメーカーの納期によって調整を行なっています。

Q12、調達困難に対する対処法（代替品・施策）

NO	業種	総従業員	文書回答
71	建設業	30~49人	早めの在庫確保
72	建設業	30~49人	代替品はあまりなく、年始から部材の価格が高騰している状況にて大量仕入れを実行してきた。それでも需要に追いつくのが不安。
73	建設業	30~49人	先を見越した概算注文
74	建設業	50人~99人	新たな購入経路模索。
75	建設業	50人~99人	事前に使用する材料を在庫にて確保をする。養生材などは再利用できるように丁寧に扱う。
76	建設業	100人以上	調達の問題なし
77	製造業	1~4人	早めに確保するしか、他に方法がない。
78	製造業	1~4人	事前に半年分は確保済みのためしばらくは様子を見ながら代替購入先を探している状況。
79	製造業	1~4人	現在、切削油については社内に確保している在庫で対応できているため、具体的な代替品の導入等の施策はまだ行っておりません。しかし、今後の状況次第で在庫が減少してきた段階で、取引先の油業者へ速やかに相談を行う予定です。その際、中東情勢の影響を受けにくく、かつ自社の刃物研磨の精度を落とさない代替品（成分が異なる油や、供給が安定している他メーカーの製品など）への切り替えが可能かどうか、検討と検証を進めていく考えです。
80	製造業	1~4人	ナイロンポリ袋系が不足してきているので、ビニール系の袋に変更した包装資材はいくつかあるが、全体的に全く不足しているというものは無い。
81	製造業	1~4人	今のところは在庫で対応しているのではとかなっている。
82	製造業	1~4人	無駄遣いをしない。
83	製造業	1~4人	ポリエチレンは別の商社から、リサイクル品で対応。
84	製造業	1~4人	仲間内での使いまわし余剰分の譲渡
85	製造業	1~4人	とりあえず、現状は大きな問題になりそうな情報は、入ってきていないので、現状維持。
86	製造業	1~4人	調達困難な溶剤は、代替品（在庫分）でカバーしている。キシロール（キシレン系）が調達困難。
87	製造業	1~4人	材料には規定や指定があり変更となると、時間と労力が膨大にかかるので変更は困難である。
88	製造業	1~4人	塗料用シンナー⇒代替シンナー（ウレタンシンナー・エポキシシンナーなど）
89	製造業	1~4人	しばらくは在庫で対応できるため、今後の状況を見極めながら対応していく。
90	製造業	1~4人	協会会社へのお願いをし数ヶ月分の確保
91	製造業	1~4人	ガムテープを多めに購入した。
92	製造業	5~9人	取引先に現状を伝えてはいるが他社も同じ状況で対応できていない
93	製造業	5~9人	納期や価格の変動に備え、早めの在庫確認と複数仕入先への確認を行う。作業性や仕上がりに支障がないものを選定しています。
94	製造業	5~9人	代替品を中国製にするのか、検討中。
95	製造業	5~9人	塗型材はアルコールを使用する「油性」と、希釈に水を使用する「水性」があるので、水性塗型に転換する準備を進めている。
96	製造業	5~9人	他の小売店にて調達出来たが今後は調達が難しい為、納期の延長を申し入れ中。
97	製造業	5~9人	代替品はなし。少しでも多く仕入れております。
98	製造業	5~9人	代替品部材はないため、できる限り早めの仕入れにて対応するしか方法がない。客先への情報提供と共有をし、理解を深めていく。
99	製造業	5~9人	国内製造加工品ではなく中国品の方が比較的供給してもらえそうな感じがある
100	製造業	5~9人	梱包は紙を使用するなどを考えている。
101	製造業	5~9人	機械油
102	製造業	5~9人	メチルアルコールからエチルアルコールへの変更。IPAからノルマルピルアルコールへの変更。ドラム缶ならあるそうなので、共同購入なども可能なかもしれませんが、薬剤を買済する資格もないし、消防法にも引っかかるので、ハードルは高そうですね。
103	製造業	5~9人	メタノール、がないので水溶性溶剤に変更
104	製造業	10~19人	普段は透明なストレッチフィルムを購入するが、やむなく色付きのストレッチフィルムを購入し、使用している。
105	製造業	10~19人	現状、在庫で繋げている。
106	製造業	10~19人	溶剤は商社1社から5社に増やして、インキ洗浄クリーナーを発注して、少しずつ足りない分を補っている。
107	製造業	10~19人	接着剤（ボンド）から両面テープに変更
108	製造業	10~19人	今の所、代替は考えていません。
109	製造業	10~19人	正規ルートでは納期がかかる為、ネット上で調達。その場合はコストが4倍程度となっている。
110	製造業	10~19人	現在の所、過去の仕入れ実績量で足りている。磁石は在庫品で賄っている。
111	製造業	10~19人	樹脂原材料については対処方法が無い。水性塗料への移行については、塗料物性の問題もあり直ぐには変更対応が難しい。現状より物性が落ちたり、色艶が変わることに対し、納入先が難色をしめしている。逆に一部原材料の問題でメーカーでの生産ができないと聞いている。（特化則非該当のものを戻さざるを得ない状況）
112	製造業	10~19人	大手商社、輸入業者をしっかりと政府がいくらで入っているものをなんぼでどのような売り方をしているか、またENEOS、出光に補助金を出したところで我々はナフサフォーミュラで買わされている為ナフサが上がり、下がっても昔の取り決めは守られることはなくなってユーティリティとか後決めルールを一方的に変更されるようになってきている為、中東情勢悪化以前よりメーカー、大手商社のやりたい放題の業界になっている。なので我々小分け屋は大変な思いをしている。
113	製造業	10~19人	代替原料を探してもらって提案を受けている。PP（ポリプロピレン）価格も25%近く値上がりしているため製品単価の値上げが必要。
114	製造業	10~19人	客先からの許可が下りないと現状代替できるものはありません。
115	製造業	10~19人	塗料に関しては対処方法なし。シンナーについては、通常使用するものと比べ成分が高価・精度高の物に代替え。
116	製造業	10~19人	特になし サイズ違いの袋を使用
117	製造業	20~29人	メーカーに在庫の確保をお願いし、対応いただくケースもあれば割高だが別ルートで仕入れたりしている。
118	製造業	20~29人	仕入先の変更。 まだ仕入先が見つからない。
119	製造業	20~29人	客先と検討中
120	製造業	20~29人	対処法はない。印刷機メーカーのトナーとなるため、他での入手は困難である。現在、他の商社との取引窓口を追加して、そちらからも仕入れられるように準備を進めている。
121	製造業	20~29人	そうですね。代替製品の検討も必要かも。しかしメーカーに指定で承認をもらっているため代替インキへの申請許可を頂くことを必要になる。面倒でもある。
122	製造業	20~29人	接着剤は他メーカー製のものを、ホームセンターなどで買い集めているが、中部地区はほぼ回り切ってしまった印象。関東・関西には一部在庫があるようで、休日等を利用して遠征も視野に入れている。ゴム引布についてもメーカーを変えて調達をかけようとしているが、コストアップや数量制限等思うように集まっていない。
123	製造業	20~29人	代替を紹介されているが価格は1.5倍
124	製造業	20~29人	塗料、シンナーは客先より支給としてももらった。
125	製造業	30~49人	以前からリスクヘッジのために調達先を増やしていたため、品目により分散化するなどして、自社に必要な分は今のところ確保できている。しかしながら、価格は現行品に比べて2割以上上昇しているため、この価格転嫁が課題である。
126	製造業	30~49人	代替品の検討は無し。
127	製造業	30~49人	多少高くても、見つけたら購入している
128	製造業	30~49人	ノントルエンで代用
129	製造業	30~49人	紙テープ、ミラーマット
130	製造業	30~49人	工事の延期
131	製造業	30~49人	機械部品を洗うシンナーを再生シンナーに切り替え。ただし、価格が以前の新品シンナーの3倍で購入しており、気分が悪い
132	製造業	30~49人	国内調達から海外調達も視野に入れお客様に提案
133	製造業	30~49人	中国製のボンドが出てきた
134	製造業	30~49人	超硬合金は他の材料への変更を顧客に依頼している。作動油などは調達困難なため、オーダーを入れつつ、節約するように心がけている。

Q12、調達困難に対する対処法（代替品・施策）

NO	業種	総従業員	文書回答
135	製造業	30~49人	中国からの直接輸入で対応
136	製造業	30~49人	アメリカ、韓国の輸入品の購入
137	製造業	30~49人	超硬からハイスにスペックダウンの検討あり
138	製造業	30~49人	代替えについては難しいと考えている。
139	製造業	30~49人	早めの調達
140	製造業	50人~99人	紙製品へ代替
141	製造業	50人~99人	節約で対応
142	製造業	50人~99人	中国の拠点からの仕入の検討
143	製造業	50人~99人	お客様からの指定色を変えて頂くようにしている。
144	製造業	50人~99人	特に代替えはないがメタノール等は中国製品が代替仕入先として出回っている。
145	製造業	50人~99人	代替え品の検討をしているが品質低下の懸念がある
146	製造業	50人~99人	代替品の調達が難しく、顧客と密に情報共有しているにとどまる。
147	製造業	50人~99人	出荷調整しながら販売
148	製造業	50人~99人	ポリスチレン・ポリエチレン等入手困難な材料については、生産地変更品（中国品）や再生材料を調達し、代替品試験を実施。
149	製造業	50人~99人	コストに目をつむり、入手できる回答を優先する
150	製造業	50人~99人	自社で代替え品を探すと共に、目的を果たすのであれば紙でもよいかなど、客先に申し入れ。また、シート自体の廃止の依頼を検討中。
151	製造業	50人~99人	水溶性の液剤や、紙製のケースへの移行を検討中。直近では、同友会の考えに反すると思いますが少し在庫を積み増しております...
152	製造業	100人以上	代替品はまだ検討をされていない。対処としては、依頼先に塗料を支給していただくか、受注前に物量を確認して、手配可能であれば受注をしていく。
153	製造業	100人以上	対処方法は、ない。代替えを探すのみ。
154	製造業	100人以上	包装単位の変更などで使用数量を減らすのみ
155	製造業	100人以上	溶剤は水溶性溶剤に変更を検討している。テープやフィルムはネットで購入できるもので代替えを検討中。
156	製造業	100人以上	梱包材などは顧客から回収を始めた。機械油などは使用量を制限している。
157	製造業	100人以上	コロナ禍以前に使用していた使い回し品に戻す
158	製造業	100人以上	プライマーがないため、商品を変えて対応している。
159	製造業	100人以上	使用料の削減、製品の仕様の見直しなど
160	流通・商業	1~4人	小売販売のため、仕入れ先がお手上げだとどうにもならない。
161	流通・商業	1~4人	在庫を持っている業者を探すしか無い
162	流通・商業	1~4人	在庫を持っている業者から分けてもらっている
163	流通・商業	1~4人	代替え商品に関しては特にありません。
164	流通・商業	1~4人	現状新たな仕入先は見つかっておらず、交換時期が近いものは断っている。
165	流通・商業	1~4人	プロピレングリコールからベジタブルグリセリンの%を高く変更する
166	流通・商業	5~9人	ポリ製品の代替えがない。衛生手袋等も代替えがない
167	流通・商業	5~9人	アドブルーは石油系からの制製品から天然ガス系からの制製品に仕入れ変更
168	流通・商業	5~9人	今のところは入荷しない製品は弊社取り扱いの商品の中でも少ないので特に対策してないです。他のメーカーを新しく探しても同じ状況でもあるので。
169	流通・商業	5~9人	水性塗料への移行しているが、こちらも入手困難になっている。メーカー問わず、現場を止めない為に代替品含めて提案している
170	流通・商業	5~9人	水性塗料へ移行しているが、こちらも最近では調達が難しくなっている。
171	流通・商業	5~9人	直接メーカー様と話しております。
172	流通・商業	5~9人	代替可能品も同様に手に入らないので、対処法はない。
173	流通・商業	5~9人	洗浄剤に関しては、拭き取り用の布で代替予定
174	流通・商業	5~9人	ポリボットについては代替品がない
175	流通・商業	5~9人	油圧作動油、その他産業用油は、フィルタリングをかけることで、寿命を延ばすことが可能。弊社は、フィルタリングサービスを提案、施工している。中東情勢が落ち着いたとしても、従前の納期や価格に戻るまで、年単位で時間がかかると思われるため、フィルタリングサービスを活用しても、延命措置をすすめるべきかと。
176	流通・商業	5~9人	業者在庫に対して企業でサポートに入ってる
177	流通・商業	10~19人	オイル交換時期延長。
178	流通・商業	10~19人	ディーゼル用エンジンオイルについては、別規格の欧州車用ディーゼルオイルで対応。
179	流通・商業	10~19人	困難な現状でも、一部の製品は中国企業とのルートが出来、場合によっては自社経由でメーカーへの供給を打診している物がある。
180	流通・商業	10~19人	代替対応はほぼ不可。客先もあきらめてくれる 待つてくれる 値段が上がっても入荷後即完売
181	流通・商業	10~19人	ガソリンスタンドにて代用。
182	流通・商業	10~19人	あまり具体案や知見がありません
183	流通・商業	10~19人	粉体塗装にする
184	流通・商業	10~19人	幅広く取引業者との繋がりを持つ。
185	流通・商業	20~29人	一部接着剤、2液タイプを切り替えている
186	流通・商業	20~29人	使用期間の延長
187	流通・商業	30~49人	仕入価格を他社より高く買い付ける。
188	流通・商業	50人~99人	仕入先が頑張ってくれてるが、頻度の、延長や、コストとあつぱは避けられない。
189	流通・商業	50人~99人	とりあえずは社内のエンジンオイルの在庫が1年分はあるので、それで対応している。
190	流通・商業	50人~99人	考えることはみんな同じで、水性のさび止めなどに移行しているが、注文が集中して、直ぐに水性の在庫も無くなってしまった。現在は受注停止状況ですので、注文すら受け付けてくれない状況。さらに代替え商品も過去の実績で8~11カ月以内に入荷がないものは受け付けてもらえず、代替商品も提案しても入手することができない。
191	流通・商業	50人~99人	先に3カ月分の購入
192	流通・商業	100人以上	エンジンオイルはトラック販売ディーラーに委託予定。
193	流通・商業	100人以上	ないが、もともと販売比率が低く分散されているので無理な受注を受けず、受注発注で対応する方針です。
194	流通・商業	100人以上	機械用潤滑油は欧州から輸入が可能。ただし価格が10倍ほどなので、よほど困った場合にしか注文にならない状況。
195	流通・商業	100人以上	商品の仕分けセンターで使うCバック、Zバック（大きめの保冷用容器のようなもの。冷凍や冷蔵の商品の仕分け、運搬に使う）は旧Zバック（古い在庫）を活用して対応。商品の仕分け、お届け時に使用するビニール袋は今のところ代替案なし。
196	流通・商業	100人以上	中国からの輸入でしどいである包装資材があります。品質的には心配ですが。お客様の中には、原材料を中国から仕入れたり、逆に中国に部品を輸出して急場をしのぐと計画されている方もみえます。プラスチック製品の代替えで紙製の緩衝材などの注文が増えています。
197	流通・商業	100人以上	調達先の新規開拓。整備工場から、メーカーへの直接取引へ
198	サービス業	1~4人	トタン板への代替えが可能な商品であれば使用して対応
199	サービス業	1~4人	オイル交換を商用車等仕事利用の車を優先して、ハイブリット車や自家用車は交換距離を伸ばしてもらっている
200	サービス業	1~4人	ノンアルコール製品に代替している。
201	サービス業	1~4人	取引ごとに、価格転嫁を進める位の覚悟が必要では。赤字を覚悟してでも受注を守ることも理解はできますが、そばそも雇用を守る原資が尽きては、意味ありません。
202	サービス業	1~4人	在庫がある為問題なし
203	サービス業	1~4人	資材を仕入れることが少ない
204	サービス業	1~4人	別の分野で利益が上がるような取り組みを検討している。ただし、即効性はないので早期実行・早期検証で臨む
205	サービス業	1~4人	代替サービスの検討、アプローチ
206	サービス業	1~4人	現状は、代替メーカーで対応できている。
207	サービス業	1~4人	ゴミ袋はとりあえず自治体指定品でもなくても良いと聞いた。

Q12、調達困難に対する対処法（代替品・施策）

NO	業種	総従業員	文書回答
208	サービス業	1~4人	今回の件より以前にある程度の在庫は確保していたので、入荷が遅くとも仕事には支障が出ない程度に取まっています。
209	サービス業	1~4人	サプライチェーンのどこかで、止めていると思われる。不正している企業をサプライチェーンから外すなど、断固とした対応を国全体で行う必要があると感じている。
210	サービス業	1~4人	新しいことはせず、様子見。はやくイラン戦争が終息してほしい。くだらない戦争なんかしないでほしい。戦争はすべてくだらないのだが。
211	サービス業	1~4人	代替が困難。
212	サービス業	1~4人	紙デザインからwebデザイン強化へ
213	サービス業	1~4人	PCのCPU・GPU・メモリの仕入自体は可能だが、高騰かつ到着時期の遅延が発生している。クライアントに遅延の連絡をし、承諾いただいている。
214	サービス業	1~4人	対策というかお店をまわってます。
215	サービス業	1~4人	代替品がありません。梱包材は、材料が一緒なので全体的に品薄状況となっています。
216	サービス業	1~4人	値上げ
217	サービス業	1~4人	機材等の調達には特に変化なし
218	サービス業	1~4人	ハスクバーナからスチールへ切り替え
219	サービス業	1~4人	パートナー企業様への仕入れ強化
220	サービス業	1~4人	資材の値段が高騰。燃料も高騰。
221	サービス業	1~4人	不動産を保持することが困難な人へ売却を進めるよう、顧客ターゲットをシフトしていく。各業種の全体的な賃上げ等により、建築資材等のコストも上がってきて、購入できる所得層がだんだん引き上げられている。相応の賃上げがなされなければ購入できる層の広がりは難しいと思われるため、今後の不動産市場は「買える人のみ買う」という嗜好品としての見方がより強まる可能性が高い。
222	サービス業	1~4人	他メーカーの薬剤を使用検討
223	サービス業	5~9人	LPガス業界ではLPガス自体は値上がりしていませんが、輸送コストが上がっているために仕入価格は上昇気味です。政府がエネルギー業界に補助金対策をしていますが、タイミングが微妙。また、石油化学工業において、エチレンなどの生産には主にナフサが原料として使われています。しかし、ナフサやガソリンの価格がさらに高騰すると、その需要がブタンへとシフト（後ずれ）し、ブタンが石油化学用途に「引っ張られる」現象が起こります。よって、LPガス供給への影響として、現状ではブタンの方が高価であるため石油化学工業は手を出していませんが、ナフサ不足や価格高騰が深刻化してブタンへの需要転換が進むと、LPガス業界が確保できるブタンが減少し、プロパンにも影響が出てきます。
224	サービス業	5~9人	別の代理店で探して購入する。
225	サービス業	5~9人	購入メーカを1社に絞ってやりましたが、今後は複数メーカのPCの中から購入しやすい機種を選択します。
226	サービス業	5~9人	手に入る他の商品で間に合わせる。
227	サービス業	5~9人	現状は問題ないが、代替できるものを検討するため数社に声をかけている。
228	サービス業	5~9人	変わるものがないか検討中
229	サービス業	5~9人	地域エリア拡大、海外企業へもアプローチ。
230	サービス業	5~9人	うちの業界で言えば、アルミ複合板という素材が一般的だが、今回のをきっかけに、昔ながらのトタンを使う事が増える。それがまた昔ながらの看板がむしろ新鮮だとお客様に喜ばれる。
231	サービス業	5~9人	設備投資の延期
232	サービス業	5~9人	交換を先送りできる消耗品は部品が供給され次第作業をさせていただき予定。エンジンオイルについては提供できなくなってしまうと、オイル寿命を延ばす添加剤で対応する予定。
233	サービス業	10~19人	顧客コントロールと販社とのパートナーシップの強化に取り組んでいる。顧客については、見積もり受注時点で、提案機器の在庫がなくなっているもしくは、仕入れ困難になった場合は同等製品で代替して納品させていただくことへの了承を得ようとしている。販社については、複数の大手販社との取引口座開設することにより、仕入れルートを増やす取り組みをしている。2026年3月から取り組みをはじめ、今まで2社の大手調達先から、3社目の口座開設が間もなく締結する。
234	サービス業	10~19人	ガソリン及び軽油不足に関しては 同友会の地区会員（ガソリンスタンド）と交渉する。
235	サービス業	10~19人	優先的に仕入れができていた企業に分けてもらっている
236	サービス業	10~19人	現在のところ、建設機械用の作動油やアドブルー、各種グリスについては、性能面・機械保護の観点から完全な代替品はなく、基本的には従来品を継続使用せざるを得ない状況である。そのため、対策としては複数の仕入先への問い合わせ・分散発注を行い、在庫を切らさないよう早めの発注を心掛けている。また、必要以上の在庫使用を避けるため、機械整備時の使用量管理や、定期メンテナンスによる油脂類の消耗抑制にも取り組んでいる。
237	サービス業	10~19人	代替はないので、先行して複数社から仕入れて在庫を確保実施
238	サービス業	10~19人	採用強化
239	サービス業	10~19人	取引先がない場合は、Amazonから仕入れている
240	サービス業	10~19人	1. 代替品の活用＝ニトリル手袋不足時には、素材変更による代替手袋を使用。特定メーカー品が入手困難な場合、複数メーカー製品への切替を実施 2. 調達先の分散＝単一業者依存を避け、複数の医療材料業者と取引を実施。通販・地域卸業者等を併用し、緊急時の供給ルートを確保 3. 在庫管理の見直し＝消耗品の安全在庫を一定数確保。使用量を定期的に確認し、過剰使用防止を徹底。優先度の高い利用者への供給を優先する体制を整備 4. 燃料費高騰への対応＝訪問ルート最適化による移動距離削減。ICT活用による情報共有効率化。地域担当制導入による移動負担軽減。車両使用計画の見直しによる燃料消費抑制 5. 業務効率化＝電子カルテ・音声入力等を活用し事務負担を軽減。看護師が本来業務へ集中できる体制整備
241	サービス業	10~19人	知人のツテなど
242	サービス業	10~19人	無地のビニール袋に変更
243	サービス業	10~19人	入手できる物のリストアップしてお客様にも転換した頂く
244	サービス業	10~19人	介護なので代替は難しい。
245	サービス業	10~19人	灯油
246	サービス業	10~19人	印刷以外の発信方法の提案中。
247	サービス業	10~19人	情報収集まで
248	サービス業	10~19人	全く手配できないわけではないので早め早めの注文を心がけている。
249	サービス業	20~29人	古くなったボイラーを1台ガスに変えた。ランニングコストは変わらないが、給油の手間がなくなった。
250	サービス業	20~29人	3か月程度のストックは確保済。その後の中東情勢次第になるが、仕入れ先は確保済。
251	サービス業	20~29人	影響があるお客様からは仕事が減少しますが、逆に影響で成長している会社が多数ありますので、そちらのお客様を増やしています。
252	サービス業	20~29人	調達先とのこれまでの信頼関係で、一定量は確保できている。そして他の調達先を探すことは他社でもやっていて、当社の仕入れ先はそれらを断っている様子。状況から、打つ手無しと思う。部品は代替が効かない。尿素アドブルーはすでに全く入荷せず、物流がストップしてしまう危機感。
253	サービス業	30~49人	なかなか代替品は無いので品薄になって商品が入荷がストップしたら大変困る。
254	サービス業	30~49人	視野を広げ別の仕事に着手する。清掃や詰まりなど。
255	サービス業	30~49人	入荷しづらい原料については、仕入れ先を変えるか、高額で購入しています。
256	サービス業	30~49人	安全性を保つため、薬の使用削減にも着手を検討するくらいしか方法がない
257	サービス業	30~49人	ある程度予測して、買える時に備品を調達して、管理していく。
258	サービス業	30~49人	包装をなくす
259	サービス業	50人~99人	営業担当がお客様との納期調整に余裕を持たせる ある程度の在庫を今のうち押さえる（決算月をにらんで）
260	サービス業	50人~99人	DX化を加速する。
261	サービス業	50人~99人	建築資材、プラスチック製品
262	サービス業	100人以上	調達する立場ではないので、回答できない。
263	サービス業	100人以上	情報収集をこまめにすることです。
264	サービス業	100人以上	早期大量確保による在庫保有

Q13、中小企業支援についての要望

NO	業種	総従業員	文書回答
1	建設業	1~4人	値上がりについては委託受託とも交渉次第。ただし納品については入手できなければ始まらないので、とにかく調達の日詰まりがないようにしてほしい。
2	建設業	1~4人	資金難が、必須。安易ではあるが、受注難に対する支援金が一番ありがたい。
3	建設業	1~4人	融資支援
4	建設業	1~4人	物品供給の遅延が慢性化し、現場の完工が滞る事態になった場合の資金繰りには不安がある。金利優遇などの救済措置・支援措置を検討してほしい。
5	建設業	1~4人	軽油にも助成があると良いと思います。国民へのアピールが強い政府ですが、国民の大半が中小企業で働いている事を知りながら、大企業の賃上げを中小企業にも進めるようにして行くことは、非常に大変なことを理解してない。大企業と同じ社会保険を、まずは下げることで、賃金に乗せることができるのではないのでしょうか？
6	建設業	1~4人	材料の安定供給と適正価格化
7	建設業	1~4人	お金を借りやすくしていただきたい。(コロナの時のように)
8	建設業	1~4人	とにかく早く元のように流通するようにして欲しい。コロナの時飲食店に出たような給付金があると助かります
9	建設業	1~4人	運転資金が必要
10	建設業	1~4人	補助金を出して欲しい。
11	建設業	1~4人	見積価格と予算が合わないため、見積調整が長引いている 塗料が入荷しないため工事が延期となっている。コロナ時の無利子の融資のようなものを実施してほしい
12	建設業	1~4人	買いだめの抑制
13	建設業	1~4人	ナフサの在庫についても、政府と一般企業の肌感にズレが生じていると思う。正しい情報が正しく伝わる様にして欲しい。
14	建設業	1~4人	国はあるという、しかし実際の流通は止まっている。この乖離している状況をしっかりと国は説明して対処してほしいです。
15	建設業	1~4人	融資条件の見直し
16	建設業	1~4人	ナフサがあるのであれば取り締まりをして欲しい。
17	建設業	1~4人	国の支援として、建築業界がダメージが甚大なので、当面の資金融資の拡充(新規融資枠の設置)を希望します。
18	建設業	1~4人	どこで情報ひろえばいいかわからない
19	建設業	1~4人	受注単価のベースアップ
20	建設業	1~4人	単価の上昇の対策として、発注金額に対する、助成金、補助金等の対応がない限り、軒並み倒産に追い込まれていくだけだと考えてます。顧客等に単純に値上げをしても、工事が受注できないと意味がないので、企業の方で対策しないと経営破綻していく中小企業は激増すると思います。
21	建設業	1~4人	融資条件の緩和
22	建設業	1~4人	建築資材の安定供給！大手企業の買い占めや転売を規制して欲しい。
23	建設業	1~4人	コロナの時のように、ゼロ金利貸し出しをお願いしたい。
24	建設業	1~4人	低金利融資対策希望、ガソリン減税融資の継続を希望
25	建設業	1~4人	実際にダメージを受けている企業へは受けたダメージについては給付するなどの大胆な救済措置を行うべきだと思います。
26	建設業	1~4人	ナフサの日詰まりを監視してほしい。
27	建設業	1~4人	金融機関の資金繰り支援の強化。雇用調整助成金の要件緩和や助成率の引上げ
28	建設業	1~4人	単月で売上げが減少しているため、助成金があれば助かる。
29	建設業	1~4人	中東情勢の影響による原材料価格や燃料費の高騰が続いており、中小企業にとって大きな負担となっています。特に建設業では、資材価格の上昇や物流コスト増加が経営を圧迫しているため、継続的な支援制度や補助金の拡充、価格転嫁しやすい環境整備をお願いしたいです。
30	建設業	1~4人	既存事業以外での新規に参入できるビジネスモデルの構築のサポート
31	建設業	1~4人	コロナ時と同じくらいの支援が必要です。その時より今の方がダメージあります。
32	建設業	1~4人	物資を止めずに下まで流してほしい。
33	建設業	1~4人	とにかくキャッシュがもたせません。別事業への挑戦もできない状況です、なんでもいので早めの対応をお願いしたいです。
34	建設業	1~4人	建設内装1本で考えていたが別事業をやる事も考えておかなかった自分が悪い。邪道だと思うが、何かマナーサイクルを考える
35	建設業	1~4人	金利据え置き融資
36	建設業	1~4人	ナフサ不足の改善。国の補助や金融機関の中小企業への手厚いフォローを至急お願いしたいです。
37	建設業	5~9人	これを機に消費税の減免および廃止の検討をして欲しい
38	建設業	5~9人	材料の値上げの根拠を明確して欲しい。便乗値上げが多すぎる感じがします
39	建設業	5~9人	塗料等の価格高騰に対する補助金制度を設立してほしい。
40	建設業	5~9人	中東情勢のような人為的な困難もきつ状況を作っているが、今後起こりうる自然災害に備えて補助金などでなく、各市町村ごとや同友会と言うところの各支部ごとなど中小企業と市民と行政が幅広く力を合わせて戦争や災害などの経済危機に備えられるような取組みを行ってほしい。
41	建設業	5~9人	返済猶予 緊急貸付
42	建設業	5~9人	官公庁の工期の見直し 物流の円滑化、正確な情報
43	建設業	5~9人	正確な情報を随時発信していただければありがたいです。
44	建設業	5~9人	引渡しが出来ず売掛があげられないものに対する短期借入金金利優遇など、支払いが先行する入金がないものに対する対応があと2~3か月もするとかなりひっ迫しそうな為。
45	建設業	5~9人	中東情勢悪化の影響を受けて、売上や利益が大幅ダウンした事業者に対して、救済するための補助金制度ができるとういなと思います。
46	建設業	5~9人	国主導による劣後ローンの検討運用
47	建設業	5~9人	雇用調整助成金や特別融資は必要。
48	建設業	5~9人	雇用を守る助成金がほしい
49	建設業	5~9人	以下、困っている状況をご理解いただきたい。塗床の溶剤が入って来ない。メーカーの値上げが70~90%。先に見積りして契約済みの物件多数。材料はこれから購入。セネコンからは「これでやって」と値上げを組んでくれない。外注さんには支払いがある。水性溶剤の値段も勿論高い。水性は水であるわけで完成品は変わる。施工管理としては変更の手間もある。気温が下がる秋以降、溶剤がないと混ざられない。実際の現場は容易ではない。利益が出ず、あがったりだ。
50	建設業	5~9人	品薄状態の解消。
51	建設業	5~9人	補助金の決定
52	建設業	5~9人	出荷停止の解除
53	建設業	5~9人	資金繰り(借入制度、補助金、助成金)。雇用調整助成金など
54	建設業	5~9人	ナフサが不足は上流側で問題があるのは明らか。政府の発言に根拠が乏しくかつ責任を感じない。せめて納税猶予や最低限の保障があっても良いと思う。
55	建設業	5~9人	社会保険費負担の軽減、税金軽減
56	建設業	5~9人	雇用維持のための運転資金の融資
57	建設業	5~9人	雇用を守るための施策かな。それとちゃんとした情報の開示。
58	建設業	5~9人	雇用を守る補助金があればいい
59	建設業	5~9人	ガソリン代が上がっているため燃料代支援とコロナの時のような融資をしてほしいです。
60	建設業	5~9人	コロナの時のように、ゼロ金利融資等の国から金融機関に対して指令をだしてほしい。給付金等も政策を投じてもらわなければ今後建築業は生き残りが大変厳しくなる。
61	建設業	5~9人	無利子融資
62	建設業	5~9人	ホルムズ海峡を日本のタンカーが安全に通れるようにイランと直接交渉することを検討すべきことを政府に要望して欲しい。この問題が長期化すれば経済が縮小していくことは明らかのように見える
63	建設業	5~9人	施工店なので、塗料がなければ仕事にならない。金銭的な部分は別として、塗料の安定供給が一日も早く実現してほしい。
64	建設業	5~9人	雇用を守る支援策が欲しいです。
65	建設業	5~9人	補助金や税金の優遇

Q13、中小企業支援についての要望

NO	業種	総従業員	文書回答
66	建設業	10～19人	中東情勢の影響による原材料価格やエネルギーコストの高騰に加え、賃上げ対応や労働時間規制への対応は、中小企業にとって非常に深刻な課題となっております。特に、建設業のような多重下請け構造においては、未端の孫請企業まで価格転嫁が十分に行き届いておらず、利益確保が困難な状況です。そのため、実態に即した価格転嫁が適正に行われる仕組みづくりや、下請企業への指導・監督強化を要望いたします。また、賃上げや働き方改革への対応を進める中小企業に対しては、設備投資・人材確保・教育支援など、継続的かつ実効性のある支援策の拡充をお願いしたいと考えております。
67	建設業	10～19人	政府をあげて、中小企業に対する税金を下げたり、支援が必要
68	建設業	10～19人	コロナ融資返済により厳しかった中小企業は危機的状況にあると思う。弊社は安定資金を見ながら未来の投資をしてきたので厳しい中でもギリギリの経営をしている。仕事量が少なくなり年の営業利益の1/3の赤字が続くとビジョンも方針もつらく感じる時が何度かある。
69	建設業	10～19人	各製造元への製造状況の共有と無駄な買い占めの阻止をしてもらいたい。
70	建設業	10～19人	借入金返済について支援があるといいと思います
71	建設業	10～19人	世の中の情報にあおられることなく、正確な情報の共有が必要
72	建設業	10～19人	中小企業支援融資があれば、利用したいと思います。
73	建設業	10～19人	大手との競合ではなく、共存できる対策をお願いしたいです。適正価格を国が明確にしてもらえること望みます。
74	建設業	10～19人	工事の遅れによる無金利の借入がないとお金が回らない業者が出てくると思います
75	建設業	10～19人	BtoB取引での工事発注者（自治体や大企業）に対して、材料入手困難な状況による工期遅延を許容するように通達してほしい。
76	建設業	10～19人	政府があてにならない、中小零細の現場で起きていることが伝わっているのか？それともなにか策があるのか、本当に陰謀論を信じたくなる。ガソリンの補助金をナフサ精製に回すとかして、目に見える政策実施を願う。
77	建設業	10～19人	融資
78	建設業	10～19人	今後のインフレ圧力や少子化による市場の縮小、住宅業界も転換期です。その支援をお願いしたい。
79	建設業	10～19人	アンケートや調査ではなく、融資緩和、金融政策などの情報展開してほしい
80	建設業	10～19人	ナフサを始め、各種原料の備蓄の見直し。安易な買い占めや転売の抑制。
81	建設業	10～19人	商社に対してストック残などの調査は必要だと思います。
82	建設業	10～19人	とにかく国から補助金など最大限に活用してほしい。建設業とくに塗装、防水業はやばいです、
83	建設業	20～29人	買い占めを阻止してほしい
84	建設業	20～29人	資材の安定供給。公共事業の計画実施
85	建設業	20～29人	国の支援も建設業の入札受注者に対して出されているが、変更要請するのにハードルが高すぎる。
86	建設業	20～29人	中東情勢対策の補助金助成金を進めてほしい
87	建設業	20～29人	緊急融資
88	建設業	20～29人	中東情勢に便乗した資材メーカーの値上げ合戦になっているように感じる。正しい価格かどうかの判断ができず、顧客への価格設定もあいまいとなってしまい情勢が落ち着くまで見積りを控えたいと感じてしまう。同様に顧客も今は買い時でないと感じていると思う。正しい情報の発信で正しい危機感を共有できる取り組みが必要では。
89	建設業	20～29人	建設業へは然るべき補助金でしょう！
90	建設業	30～49人	コロナ禍の時の様に雇用調整助成金など条件を緩くして、受給できる様にして貰いたい。
91	建設業	30～49人	政府ではナフサや石油が足りていると発表されていますが、実際のサプライチェーンには遅延や停止が起きており、情報に差があると感じています。中小企業の現状を踏まえて、サプライチェーンの適正化に注力してほしい。
92	建設業	30～49人	原材料の調達できない中小企業にとっては業務が止まる可能性もあります。支援金などの一時金や低金利融資など。
93	建設業	30～49人	景況調査の間隔を狭め、結果の回答も早めに頂きたいです。
94	建設業	50人～99人	運転資金の融資支援、資材調査の支援
95	建設業	50人～99人	出し渋りや買い占めが起こらないよう指導してほしい
96	建設業	50人～99人	国や地方公共団体などに対して公共事業への投資は維持してほしい
97	建設業	50人～99人	資金繰り安定のための支援
98	建設業	50人～99人	機械用オイル、機械用ゴム製品取扱業者募集中
99	建設業	50人～99人	全体的に資材難に陥っているが、業種によっても差が生じていると感じており平準化できる対策があれば良い。
100	建設業	50人～99人	法人税、住民税、消費税の免除。
101	建設業	100人以上	運転資金の借入が必要となるのでコロナ融資の様に金利を抑えてほしい。
102	製造業	1～4人	ビニール類（ハウス被覆ビニール、漏水用チューブ、など）が手に入らないと、そもそも農業を継続できないため、なんとかナフサが昔の量確保できるようにしていただくか、海外から輸入品のルートを確保していただきたいです。
103	製造業	1～4人	中東情勢の長期化によるエネルギーコストや原材料費の高騰は、コロナ禍以降、必死に経営を立て直してきた中小企業の体力を再び直撃しています。弊社のように売上が回復傾向にあり、黒字化一歩手前まで成長している企業であっても、現状の決算書が一時的な赤字であるという理由だけで、民間金融機関の通常の融資枠からは門前払いされてしまうのが実態です。政府や自治体、金融機関の皆様には、前回のコロナ禍の際に実施された特別融資のような、過去の数字にとらわれず「現在の事業の成長性や現場の実態」を考慮して機動的に手元資金を下支えしてくれる、公的なセーフティネット融資の速やかな創設・拡充を強く要望いたします。
104	製造業	1～4人	やはり電気代や燃料代といった、インフラ系の料金の値上がり著しいと感じる。対策をすでにして頂いている事は承知しているが、さらに補助を考えて頂けると運転が楽になると感じている。
105	製造業	1～4人	現時点では要望はなし
106	製造業	1～4人	低金利の融資
107	製造業	1～4人	融資、助成金等
108	製造業	1～4人	資金繰りに対しての借入支援が有れば助かる。
109	製造業	1～4人	噂でなく、真の情報が欲しい
110	製造業	1～4人	資金繰りに対する政策
111	製造業	1～4人	助成金をお願いします。
112	製造業	1～4人	物価上昇分だけでも、減税措置を講じてほしい
113	製造業	1～4人	とりあえず、大きな問題は無いので、中東情勢に関しては無い。それよりも、社会保険料が上がっていることが、社員の給料を逼迫させていることのほうが、問題。
114	製造業	1～4人	金利の低下と融資の緩和。
115	製造業	1～4人	ナフサ由来製品の早期安定供給を希望します。
116	製造業	1～4人	どのような形でも良いので税の免除もしくは減税を要望。
117	製造業	1～4人	飼料価格が高止まりしている。国内の食を支えるためにも補助金など拡充して欲しい
118	製造業	5～9人	コロナの時みたいに助成金等を作ってほしいです。
119	製造業	5～9人	雇用調整助成金の拡充 コロナ規模
120	製造業	5～9人	この状況が長引くようなら資金繰りに不安を感じる為、セーフティネットなど支援も検討していただきたい
121	製造業	5～9人	中小企業支援としては、原材料費・エネルギー費・物流費の上昇分を適正に価格転嫁できるよう、発注側企業への働きかけや取引適正化の強化を要望します。あわせて、資金繰り支援、低利融資、既存借入の返済猶予、省エネ設備導入や生産性向上に向けた補助制度の拡充を希望します。また、材料調達や物流遅延に関する情報提供、複数仕入先の確保、共同購入、地域内調達などを進めるための支援も必要だと考えます。
122	製造業	5～9人	この値上がりの負担を補助金でも、支援してほしい。
123	製造業	5～9人	売上減によるキャッシュフローの悪化が大きい。コロナの返済もあるので、猶予が欲しいところです。
124	製造業	5～9人	雇用を守るためと資金繰りのための補助
125	製造業	5～9人	雇用調整助成金 低金利で借りれる施策等。
126	製造業	5～9人	資金需要が一番にある。需要の停滞はモノの動きが滞っているため、適正な動き出しが再開した場合に備えて人員確保と資金調達をすること。
127	製造業	5～9人	コロナの時のような特別融資があると良い。
128	製造業	5～9人	コロナ融資とまではいかないがスピーディに融資策を展開しないとつづれるところが増えるだろう
129	製造業	5～9人	戦争が終わっても、またすぐどこかで争いが起きます。平和である事の大切さを噛みしめて、日本が戦争に巻き込まれないように政府と企業が共に全力で知恵を出しあう必要があると思います。
130	製造業	5～9人	税金を下げてほしい

Q13、中小企業支援についての要望

NO	業種	総従業員	文書回答
131	製造業	5～9人	価格上昇に伴う補填がきく補助金、助成金があるとありがたい。価格転嫁できる範囲にも限界があるため。
132	製造業	5～9人	長期化するのか、間もなく解決するので大きく変わりますが、建築の場合は納期が遅れた場合の補償の立替等々必要かと思われま。代替品に変更する際に、業種によっては変更し時間と経費が掛かる場合もありますので、変更手続きの軽減措置が必要でしょう。長期化する場合には、ナフサの他の地域から購入の手配、もしくは代替品の開発等が必要かと思われま。
133	製造業	5～9人	支援金
134	製造業	10～19人	支援等より早く戦争が終結してほしいです。
135	製造業	10～19人	資金繰り、資材調達、価格反映しやすくする
136	製造業	10～19人	国の支援（急務）
137	製造業	10～19人	資材の値上げ分の保証をお願いしたい。
138	製造業	10～19人	中東情勢を有事として認め、国（金融庁）からの施策が必要
139	製造業	10～19人	簡単には値上げに応じてもらえないので、その分を肩代わりしてほしい。
140	製造業	10～19人	物資不足を報道機関は過剰にあおっている。正確なデータを基に正しく情報を伝えるように要望して欲しい。
141	製造業	10～19人	価格の上昇は仕方ないとしても、物が無い状況を解消するために、効果的な備蓄の放出をして欲しい。
142	製造業	10～19人	製造業、建築業がかなり落ち込んでいるので、救済措置を早急にしてほしい
143	製造業	10～19人	雇調金の要件緩和、特別融資（未返済のコロナ枠とは別枠）。親企業に対する値上の容認指導。
144	製造業	10～19人	今後の経過をいち早く業種別に知りたい。
145	製造業	10～19人	選挙の時だけでなくもっと政府は、我々が営業するときのように自分の足で、生の声を聴いてみるのがいいと思う。
146	製造業	10～19人	雇用調整助成金、設備投資、補助金や助成金など
147	製造業	10～19人	もしもの為に借入をする時に、コロナ時のように金利を低金利にしてもらえるとうありがたい。
148	製造業	10～19人	代替品がみつからないのでなければ売り上げも立ちません。休業補償ですかね。
149	製造業	10～19人	借入の緩和
150	製造業	20～29人	原油不足に対するの対応策をお願いしたい。実際には大手を中心に確保され、中小・小規模企業には回ってこないのが現実だと思うので流通の目詰まりについて対応をお願いしたい。
151	製造業	20～29人	足元で材料調達はできているものの、接着剤の価格高騰が激しく、30%~50%の値上げが実施されている。加工後の製品価格の改定について、大企業はもっと柔軟に対応してほしい。価格改定を受け入れる環境がまだ乏しいと感じています。
152	製造業	20～29人	今後、材料が無くて業務が進められなかったり、受注が減る可能性がある。雇用調整助成金などの対策を取るべきだと考える。また石油製品はと政府が言うのであれば、根詰まりを解消するための動きをしてほしい。
153	製造業	20～29人	雇用調整助成金を要望。
154	製造業	20～29人	コロナ禍に比べ、国、政府の対応は遅いと感じます。同友Aichi（5月1日号）にも掲載されていたように、中小企業への影響は想像よりも多く、厳しい状況がすでに始まっていると思います。国、政府の対応のスピード感と危機感を上げて、様々な施策をうって欲しいと思います。
155	製造業	20～29人	低金利の融資があれば活用したい。
156	製造業	20～29人	川上の目詰まりの早期解消。やむを得ない場合の休業補償など。仕入価格高騰を販売価格に転嫁いただけるよう大手企業への働きかけ。まったく応じてもらえない会社もあるため。
157	製造業	30～49人	ただでさえ下落基調の住宅業界が、今回の危機でさらに縮小が加速することが予想される。その対応のために事業転換の取り組みが必要だが、人材のリスキングや新規事業への投資が欠かれない。どちらにしても先行投資が必要なので、資金とソフト面からのサポートをお願いします。
158	製造業	30～49人	税金の緩和・最低賃金上昇を低い基準にしてほしい国・大企業・メーカーが、価格転嫁を受け入れていただきやすい体制をつくってほしい
159	製造業	30～49人	原材料の適性供給
160	製造業	30～49人	精度の高い情報提供を望みます。
161	製造業	30～49人	原材料を含む各種資材の確保のため、また価格転嫁できるまでのタイムラグ対応のため、早急な金融支援が必要。
162	製造業	30～49人	材料仕入先の確保等を組合を作って対応するのも良いか
163	製造業	30～49人	低金利の特別借入れの実施
164	製造業	30～49人	今後、今以上の物価上昇が発生するので、現在の材料費等だけではなく、中小企業は人件費まで価格転嫁が難しい状況なので、人件費の上昇に対するの価格転嫁がし易い環境を整備して頂きたい
165	製造業	30～49人	お金のバラマキをやめて、円安対策をする方向性にしてほしい。燃料など補助せず、節約を呼びかけるのが妥当だと思う。
166	製造業	30～49人	無利子の融資など
167	製造業	50人～99人	値上げ交渉がスムーズにいくように、大手企業に今までより強くお願いしてほしい。
168	製造業	50人～99人	今後、状況悪化したら、雇用調整助成金等の施策を期待したい。
169	製造業	50人～99人	大手だけではなく、中小企業にもナフサ由来の製品の供給。コロナ融資のような金融支援。
170	製造業	50人～99人	目詰まりさせている会社を何とかして欲しい。
171	製造業	50人～99人	何の支援もない様に感じる。ナフサはある。ただ目詰まりしているだけという政府の報道に疑問しかない。製造業より、建築業の方が影響が大きく出ている。支援策は遅れていると感じている。民間金融機関は店舗統合で、仕事が増え、人手が足りず、麻痺状態に思える。
172	製造業	50人～99人	各業界の情報を頂きたいです。
173	製造業	50人～99人	影響がこれから出てくると思いますので、今の段階ではなんとも。
174	製造業	50人～99人	原油の輸入先にめどがついているのにナフサ由来の製品が入らないのはなぜか、国としてナフサ対策を強化していただきたい。
175	製造業	50人～99人	発注先に根拠に基づいたものには値上げを認める要請を出してほしい。本来なら取適法にも違反するはず。金融機関には金利の優遇措置を実行してほしい。借入金返済も優遇できるなら手を打ってほしい。
176	製造業	50人～99人	物の値上がりで単価が上昇して資金繰りが厳しくなりつつあります。コロナの時のようななどは、言いませんが中小企業に優遇的な融資をお願いしたいと思います。
177	製造業	50人～99人	行政に提案してほしい
178	製造業	50人～99人	金利を優遇してほしい。
179	製造業	50人～99人	中小企業の設備投資を補助するものづくり補助金が第23次で終了。今後、中小企業の設備投資のハードルが上がる為、ものづくり補助金の再開もしくは別の補助金を検討いただきたい。（新開発の要素が強い後継の補助金はあるが、新開発の要素が無い場合の設備投資では使えない）
180	製造業	50人～99人	期間が長引くようであれば、資金調達の支援が必要になるのでは
181	製造業	50人～99人	雇用調整助成金の要件緩和。
182	製造業	50人～99人	特別融資を実施してほしい
183	製造業	50人～99人	影響が出ていないところの方が多い。しかし、このまま先影響がないわけ無いと感じているので、政府からは正しい情報を出すようにしてもらいたい。抑制せよならそのように報道すべき
184	製造業	50人～99人	物流の促進（売り控えの禁止）、補助金によるコスト抑制
185	製造業	100人以上	塗料、シンナー、梱包用品などで購入が可能なところがあれば情報提供をしていただきたい。
186	製造業	100人以上	国は、融資の緩和策（支援策）を打ち出さないのでしょうか。報道と現実は、かなりかけ離れている感じがします。
187	製造業	100人以上	ナフサの供給状況などが全く見えず、そのあたりの情報共有をお願いしたいのと、価格転嫁がスムーズに進まないため大手への指導をお願いしたい。
188	製造業	100人以上	物価上昇や調達困難による助成金等の支援を希望
189	製造業	100人以上	金融機関からの資金調達は今のところ出来ているが、中東情勢に特化した金利優遇された融資制度があると助かる。コロナのときより環境は酷い業界もある。
190	製造業	100人以上	自動車メーカーの急な稼働停止に対する補償要請
191	製造業	100人以上	仕入れ価格上昇並びに売上減少分の補填
192	流通・商業	1～4人	緊急融資政策
193	流通・商業	1～4人	融資の支援があれば使いたい
194	流通・商業	1～4人	販売機会が減っていくので、経営状態に関係なく粗利にたいして強制的に課税される消費税の廃止を求めます。消費税減税をするとしても、軽減税率をつくとインボイス方式や選付金制度が必要になって税制が複雑になるので一律の税率を求めます
195	流通・商業	1～4人	融資制度、助成金、補助金の拡充

Q13、中小企業支援についての要望

NO	業種	総従業員	文書回答
196	流通・商業	1~4人	円安と原油高に起因するコストアップにて、従来通りの経営を継続するのが困難な状況となっています。デフレ時代やコロナ流行時よりも経済状態は悪化しており、すでにスタグフレーションの状態にあると推察されます。コロナ流行時以上の規模にて、中小企業に対する新たな金融支援が必要だと思います。
197	流通・商業	1~4人	大手買い占めやめさせて
198	流通・商業	1~4人	今後影響は出てくると思うので、国に支援策を出してほしい
199	流通・商業	1~4人	石油価格の安定
200	流通・商業	5~9人	仕入価格が35%上昇、価格転嫁が間に合わない。もともと粗利25%の所35%以上の仕入れ値上昇で、瞬間10%以上の逆ザヤとなっており経営に直撃しています。運転資金確保の援助
201	流通・商業	5~9人	資金力を上げる為の融資。
202	流通・商業	5~9人	資金繰りの支援策。影響が大きい事業者に対して大幅な金利優遇措置が必要と考える
203	流通・商業	5~9人	低金利融資
204	流通・商業	5~9人	ゼロゼロ融資
205	流通・商業	5~9人	建築や土木の材料が不足しているので現場の動きが悪く感じます。弊社では入荷してこない商品は少ないのですが動きが悪く販売が停滞しております。こちらに要望するのは間違っているかと思いますが、どこかで投資の為にせき止められている感じがするのでスムーズに流れるように何か手を打ってもらえるようにして欲しいです。
206	流通・商業	5~9人	工事が完了しなければ入金もないため、資金繰りに困る客先も増えている。そういったところへの繋ぎ融資的な支援は行ってほしい
207	流通・商業	5~9人	原油の寸断によって、何が不足して（原料）、どのような理屈で、どんな最終製品に影響が出るのか、まとめた資料があると嬉しい。
208	流通・商業	5~9人	財政面での一時的な支援をしてほしいです。金利支払い分の補助や社会保険料の一時的な減免等。ナフサ問題で仕入商品が欠品となったのはまだほんの一部ですが、今後仕入商品が仕入出来なくなるとその分売上や利益は確実に落ちるので。
209	流通・商業	5~9人	時限立法的でもよいので消費税自体をなくしてほしい。
210	流通・商業	5~9人	支援をお願いします。
211	流通・商業	10~19人	燃料・オイル・物流関連資材の安定供給に向けた施策や、仕入価格高騰時における緊急支援制度や、物流業界向けに優先供給体制や共同購買支援など。
212	流通・商業	10~19人	行政の助成強化。
213	流通・商業	10~19人	食品だけでなく、全ての消費税を0%にする。少子高齢化や手取り減少等、他の諸問題も一期に解決する。
214	流通・商業	10~19人	ガソリン代オイル代原油価格に関係する物価上昇に対して、現状維持もしくは支援をして頂きたいです。
215	流通・商業	10~19人	仕方がない 3月に大量発注しておいたので3月4月と大幅売り上げ増 5月も前年比大幅増予想。この反動が必ず来ると思うのでその時の支援は必要かも
216	流通・商業	10~19人	燃料価格の高騰に対して物流は1回限りの支援が多いので、継続的な支援が欲しい。
217	流通・商業	10~19人	顧客の自動車関連部品加工価格を上げて欲しいです
218	流通・商業	20~29人	コスト上昇分税額控除して欲しい。給付は不要
219	流通・商業	20~29人	燃料、電気代高騰への補助きん
220	流通・商業	20~29人	コロナの時みたいに融資枠を作してほしい
221	流通・商業	30~49人	お金の貸し出しが緩和されても返済が始まると結局返済が出来ずに倒産する企業も多い。貸し出しの際にはもう少しシビアに貸し出した方がいいと思う。貸した際にはそういった企業再生についての支援などあった方がいいと思う。（潰れる時期を延ばしているだけだし、貸し倒れを税金などで他の企業が補填することになるので）
222	流通・商業	30~49人	貸出枠の拡大や金利の補填。雇用の維持のため社会保険料の軽減
223	流通・商業	30~49人	生産性向上の支援。
224	流通・商業	50人~99人	金融機関の金利の引き下げ
225	流通・商業	50人~99人	規模が小さい会社ほど余力がないため、仕事が止まってしまうと数ヶ月でキャッシュアウトしてしまいます。低金利での資金の貸し付け、審査を緩めて頂き早急に貸し付けができる環境。ガソリンのように溶剤メーカーに補助金や政府の補助で値上げを抑える。臨時的に政府が原油調達をするなどの対応を取ってほしい。
226	流通・商業	50人~99人	借入の据え置きと金利。採用への補助
227	流通・商業	100人以上	具体的な情報を正確に開示してほしい。
228	流通・商業	100人以上	まずは雇用調整助成金の充足とともに、貨物運搬事業者へ軽油高騰の助成をお願いしたい。
229	流通・商業	100人以上	中東情勢の影響による売り上げ減少の場合にだけ金融支援を行うべき。
230	流通・商業	100人以上	不足しているものを同友会でまとめて国へ伝えることで、目詰まりの解消をお願いしたい。（声を挙げれば動いてくれるという話を聞くので）。また、資金の手当てがいつでもできるような施策を準備しておいてほしい。
231	流通・商業	100人以上	方が一事業を停止せざるを得なくなった場合の税制優遇措置など
232	流通・商業	100人以上	大企業には比較的商品はいきわたっているように感じます。中小企業へのヒアリングなどを実施してほしいと思います。
233	流通・商業	100人以上	政府の見解と実情が違いすぎるので歩留まりを解消していただきたい。
234	サービス業	1~4人	雇用調整助成金など、雇用維持のための支援は必要だと思います。また、コロナの時ほどじゃなくても、緊急融資は必要だと思います。
235	サービス業	1~4人	貸出金利の低減
236	サービス業	1~4人	休業を余儀なくされる中小企業に対して、雇用調整助成金の適用条件を緩和するなど、利用促進の施策を取ってほしい
237	サービス業	1~4人	売上低下の場合のセーフティネットの充実による雇用を守る安心感。
238	サービス業	1~4人	雇用調整助成金のお世話になる企業が増えるのでしょうか
239	サービス業	1~4人	影響ある資材に対する優遇措置
240	サービス業	1~4人	資金繰りを助ける融資制度があると嬉しい
241	サービス業	1~4人	補助金
242	サービス業	1~4人	中小企業、個人事業主含めて税負担を減らして欲しい。対顧客というよりは税負担が多すぎる。中東情勢というがほとんどが国家の政策ミスであり、政治的判断が国家衰退に向けて行われていること。根本を直さないと表面上でどんな対策を立てようともその場しのぎになってしまう。
243	サービス業	1~4人	無利子貸し出しを検討したい。
244	サービス業	1~4人	期間中の補助金などの制度実施。
245	サービス業	1~4人	クライアントが影響を受けていることで自分たちもなっているもので、採用コストにどれくらいの変動があるのかは理解しておきたいです。
246	サービス業	1~4人	補助金など資金繰りについてあれば知りたい
247	サービス業	1~4人	資金調達についての情報。銀行からの借入難への対応
248	サービス業	1~4人	自社に関しては特にありません
249	サービス業	1~4人	雇用調整助成金において適用拡大・手続簡略化等の特例措置
250	サービス業	1~4人	雇用調整助成金の拡充
251	サービス業	1~4人	これだけのインフレの中で賃上げは必須ですが、一方で、収益性を高められません。成り行きではなく、10月の最低賃金引き上げの方針や目標インフレ率など、方針を早期に出して欲しいです。
252	サービス業	1~4人	コロナ禍の時のような融資ばかり制度化しても、痛みを先送りするだけなので、耐えて創意工夫している中小企業には、支援の代わりに社会保険料及び社会保障、雇用助成をなんとかならないかと思っています。物価高に合わせて、賃上げしてもそれ以上に保険料が支給額も会社の負担額も圧迫してできません。
253	サービス業	1~4人	正しい情報がタイムリーに常に取得できるシステムがあれば良いと思う。
254	サービス業	1~4人	当面の融資
255	サービス業	1~4人	小規模事業者向けの減税政策の拡充。
256	サービス業	1~4人	直接影響を受ける業界に対しての支援策は必要だと思う
257	サービス業	1~4人	各分野が利用しやすい補助金の継続
258	サービス業	1~4人	各種補助金などの情報

Q13、中小企業支援についての要望

NO	業種	総従業員	文書回答
259	サービス業	1~4人	資金繰り支援の拡充と「支払い遅延・未収金」対策への特段の配慮。中東情勢の長期化に伴う原油・ナフサ等の原材料不足や物流コストの高騰は、サプライチェーンの末端にある中小企業の経営を直撃しています。その結果、連鎖的に「専門サービス業（土業・コンサルティング業等）への報酬支払いの遅延」や未収金トラブルが急増しています。要望事項：仕入れ先や外注先への支払いが困難になった事業者に対し、政府系金融機関等による既存融資の返済猶予（リスケジュール）の柔軟な承認、および実質無利子・無担保融資の再編など、機動的な資金繰り支援の強化を求めます。取引先の経営悪化のあおりを受け、売掛金や顧問報酬の回収困難に直面している専門サービス業等の事業者を救済するため、「中小企業倒産防止共済（経営セーフティ共済）」の貸付手続きの迅速化や、特例的なセーフティネット保証の適用を要望します。
260	サービス業	1~4人	補助金や優遇措置の伝達。知ってる人しか知らないような状況を少なくしてほしい。多くの人が知っている、という状況にしてほしい。
261	サービス業	1~4人	同友会会員同士で仕事を受発注が可能な掲示板の様なものがあれば幸い。
262	サービス業	1~4人	消費税法の簡素化など行政手続きの工数を削減したい
263	サービス業	1~4人	助成金の間口を広げて欲しい
264	サービス業	1~4人	コロナ融資などの借入金の免除など国が何かしら考えて欲しい
265	サービス業	1~4人	金融機関の融資条件の緩和
266	サービス業	1~4人	情報共有の仕組みが整うとよい
267	サービス業	1~4人	作りたくても作れない現状はコロナのときより厳しく、融資をしないと今後厳しいと思う。
268	サービス業	1~4人	大規模案件が先送りになる事案が多発しそう。
269	サービス業	1~4人	中小企業の支援は私の本業です。支援が必要な方は申し出て下さい。
270	サービス業	1~4人	セーフティネット貸付の業種拡大と補償額の拡大。ナフサ不足を代替品によって製造・供給できる仕組みづくり。ナフサ代替品の生産技術開発や設備投資による税制優遇。投資ファンドの設立とその利益に対する税制優遇。化石燃料以外の再生可能エネルギー（太陽光発電など）の導入による税制優遇。コロナ禍のような、潤沢な資金支援
271	サービス業	1~4人	金融緩和
272	サービス業	1~4人	コロナで借入しているの、この上、イラン戦争で借入できるのか。金利もジリジリと上がっている。
273	サービス業	1~4人	とにかく経済活動の低下を招かないようにして欲しい。特に、良い機会と捉えて新事業へ打って出る企業も増えると思うので、新規事業に対する補助金を充実させて欲しい。ただ、新規事業の補助金については、WEBサイトやWEBの広告に対しての費用が利用できないことが多く、物足りない内容となっているため、それらの部分を改善して欲しい。
274	サービス業	1~4人	原油の確保。原油に代わる代替品の早期開発。
275	サービス業	1~4人	影響を受ける調達物資の確保や価格上昇抑制策（取引先の予算に影響する可能性あり）
276	サービス業	1~4人	中東情勢に対応するため、中小企業援助のための融資枠を設けて実施してほしい。
277	サービス業	1~4人	全体への燃料費補助金は意味ないのでリパレージのきく計画をするべきです。経済効果や、低所得者、外国人労働者の犯罪データなど、データをとっていなさすぎます。
278	サービス業	1~4人	新規顧客獲得のためにどこに需要があるかを把握できるようにしたい
279	サービス業	1~4人	財務支援
280	サービス業	1~4人	政府が実態を開示し、安心なのか危険なのかを示すこと
281	サービス業	1~4人	運転資金の緊急融資が必要になると思います。
282	サービス業	5~9人	買占めによる価格上昇を防止してほしい
283	サービス業	5~9人	今のところ特にありませんが、早く戦争終結を望みます。
284	サービス業	5~9人	社員の給与を上げてもらっても社会保険料を据え置くなどしてもらえると助かる。
285	サービス業	5~9人	製造・建築・設備業が多い当該7において、影響を少なからず受けている会社が多い中、「衣食住」関連以外は優先度が低くなる為、弊社のような「観光業」においては、節約志向よりボテ/ロの様今後の影響があると予測する。コロナ禍ではないが、不透明な故、中小零細支援は必要と考える。国・金融機関に対しては新規融資が望ましい。
286	サービス業	5~9人	こんな短期スパンで社会問題が発生すると、特別融資が出て借入れが増えるだけで、インフレの後押しにしかありません。各社ドンドン追い込まれていくだけです。一度、元本返済停止など考えるべきではないかと思えます。また大企業との供給格差があるのは資本主義経済では仕方ないのかもしれませんが、特に建設業、運輸業に関しては保護しないと大きな災害があった時の復興需要には耐えられないと思えます。
287	サービス業	5~9人	0金利での融資
288	サービス業	5~9人	融資制度の拡充。ただし、むやみに貸し出すのではなく税理士など専門家の支援も取り入れながら精査すべき。ゾンビ企業を増やしてはいけない。
289	サービス業	5~9人	コロナ時も、石油ショックの時も、モノの買い占めがあるからバタバタするが、何があっても平常心でいれば振り回されないと。一つ一つの企業がモノ不足の動きに振り回されないようにしなければならない。
290	サービス業	5~9人	材料が入手できず経営危機に陥っている企業には融資支援をしてほしい。
291	サービス業	5~9人	報道の仕方を見直してほしい。現場で材料不足になっていないのに報道によって顧客が工事を延期している。米の時と同じく、報道に問題がある。
292	サービス業	5~9人	こういったアンケートで中小企業の現状を知る情報は有り難い
293	サービス業	5~9人	国から補助金や、資材斡旋があると助かる。
294	サービス業	5~9人	セーフティネットでの借入れ
295	サービス業	5~9人	現状は困っていないが新築マンション、戸建てが高くなっていくのを抑えられない状況だと思えます。購入できる人が減り、不動産が動きにくくなると市場がより悪化しそうです。せめて金利が上がらなければいいのですが、金利もあがっているの、住宅だけでも上がらない対策を考えてもらえると嬉しいです。
296	サービス業	5~9人	教育支援の助成金、補助金の提供。また、中小企業からの要望ではないですが、化石燃料の代替燃料をこれを機に研究開発費をしっかりと予算化してほしい。この危機が過ぎてしまったときに、喉元過ぎれば熱さを忘れる、という事にならないようにして欲しい。
297	サービス業	5~9人	正しい情報の提供
298	サービス業	5~9人	コロナ禍同様の金融支援をお願いしたいです。
299	サービス業	10~19人	物流再構築、地域連携強化
300	サービス業	10~19人	消費税さげろや
301	サービス業	10~19人	ホルムズ海峡封鎖に影響がある企業向けの特別相談支援窓口設置。セーフティネットなど貸付緩和。中小零細企業に対する減税 法人税・法人県民税・法人市民税・固定資産税・自動車税。法人向けガソリン税 簡発油税・地方簡発油税・石油石炭税+消費税の「タックス・オン・タックス」見直し。劣後ローン。リスク。
302	サービス業	10~19人	補助金、助成金制度の拡充、人件費、採用費の支援など
303	サービス業	10~19人	中小企業は大企業と比べ、仕入価格転嫁や在庫確保が難しく、急激なコスト上昇を自社努力のみで吸収することには限界がある。そのため、政府に対して以下の支援を要望する。・燃料・油脂類・物流コスト高騰に対する中小企業向け支援策の拡充・資材価格高騰分を適正に価格転嫁できる環境整備・中小企業向け緊急融資や資金繰り支援の強化・建設・物流関連事業者への安定供給体制の確保・エネルギー価格高騰時における継続的な支援制度の整備。地域インフラや建設現場を支える中小企業が安定して事業継続できる環境整備を強くお願いしたい。
304	サービス業	10~19人	中東情勢の悪化が業績を直撃している会社もあれば、影響のない会社もあり、影響の大きい会社に絞った対応を政府や自治体にはお願いしたい。
305	サービス業	10~19人	中小企業が騒ぎすぎてそれぞれが買いだめた結果ではないか必要なのは支援ではなく啓蒙だと感じる
306	サービス業	10~19人	現状、影響はないが、世間の消費動向が落ちることによる影響の保証があると嬉しい。
307	サービス業	10~19人	燃料費・光熱費高騰に対する継続的な補助制度。医療・介護分野における物価高騰対策支援金の拡充。訪問看護報酬への物価スライド的な仕組みの導入。処遇改善を目的とした人件費補助の拡充。ICT導入や業務効率化に対する補助金支援
308	サービス業	10~19人	資材、原材料の調達状況等についての正しい状況提供
309	サービス業	10~19人	融資の際コロナ時のような「信用保証会社への手数料の減免などの処遇を期待する
310	サービス業	10~19人	どういった要望ができるのかわからない。要望の具体例を示してもらえると考えやすい
311	サービス業	10~19人	賃金上昇を止めてほしい
312	サービス業	10~19人	ニトリ手袋などの配布
313	サービス業	10~19人	売り上げに影響が出る前にコロナ融資の様な借入れしやすい環境を作って欲しい
314	サービス業	10~19人	融資の緩和
315	サービス業	10~19人	一年金利据え置き貸付金と給与補助金を要望します。
316	サービス業	10~19人	柔軟な融資

Q13、中小企業支援についての要望

NO	業種	総従業員	文書回答
317	サービス業	10～19人	将来における経営計画を持つ企業を優先的に支援することが肝心。
318	サービス業	10～19人	融資施策の拡充と、きめ細やかな周知を要望します。原材料がスムーズに流通できるような監督指導を要望します。
319	サービス業	10～19人	消費税の廃止
320	サービス業	20～29人	業種によってだが、補助金が使用できたらと思う。
321	サービス業	20～29人	情報共有
322	サービス業	20～29人	塗装業、お風呂などの設備がなく、大変だとよく聞く。ナフサは確保してるが、停滞しているだけなのかハッキリしてほしい。
323	サービス業	20～29人	業務がなくなり待機社員が出た場合の給与支援の補助金が充実してくると良い
324	サービス業	20～29人	本当に困っている人、会社まで行き届かないことがもどかし。
325	サービス業	20～29人	中小企業の声を聞いて具体的な支援対策を行ってほしい。
326	サービス業	20～29人	資材の値上げ分の補填など。
327	サービス業	20～29人	国家としても今、調達については努力していると思うが、半世紀来、備蓄は増やしても調達や消費について方針を変えず今の危機を招いている。この機に中小企業の意見を「現場の意見」として真剣に取り上げてほしいと思う。喫緊の問題としては、雇用調整助成金の拡充か。
328	サービス業	30～49人	中小企業に対してはコロナ時のような緊急施策の実施。緊急融資や雇用調整助成金など。また、新産業や地域産業の活性化に対する補助金を活用して緊急施策の実施。例えば、住宅業界など輸入物価が高騰しているので資材を地元で供給できる体制づくり。(愛知県産木材の活用)
329	サービス業	30～49人	飲食業界の大先輩方々がどのように乗り越えているかが教えて欲しい。
330	サービス業	30～49人	大企業には供給がされているという話を耳にしました。全体への安定した供給をお願いしたいです。
331	サービス業	30～49人	コロナの時のように社員さんを休ませた場合の補助金制度の創設を働きかけてほしい
332	サービス業	30～49人	物流上流からの行政指導レベルのスムーズな対応を切に願います。
333	サービス業	30～49人	弊社業務には直接関係ないが、国際情勢にあまり影響されない仕組みを国の施策として打ち出して欲しい
334	サービス業	30～49人	衛生用品等は、コロナの時のようにならないように、政府や関係各所に対応して欲しい。
335	サービス業	30～49人	中東情勢前の経営状況を把握したうえででの支援にすべき。
336	サービス業	30～49人	人件費補助
337	サービス業	30～49人	補助金の新設など、この状況をプラスに変えようとする企業を中心に政策を打ち出してほしい
338	サービス業	50人～99人	コロナパンデミックの際の様な貸し付け、借り換え制度がほしい。
339	サービス業	50人～99人	仕入ができる出来ないは企業の大きさに決まりそうなので 同業差同志で合同仕入れができるようにしたり その際の仕入れコストを公平にできるよう 国が、燃料と同じで補助をするとかがあるとよいと思います
340	サービス業	50人～99人	社会保険料の企業への助成。
341	サービス業	50人～99人	きめ細かく、現場のニーズに応えられる支援を。
342	サービス業	50人～99人	情報開示。
343	サービス業	50人～99人	補助金の導入
344	サービス業	100人以上	政府へ市場の流通が止まらないように働きかけてほしい。
345	サービス業	100人以上	政府融資。雇用調整の為の支援拡大